

令和3年度  
社会福祉法人 尚生会  
事業実績報告書

〒309-1611

茨城県笠間市笠間1 6 3 5 - 2

TEL 0 2 9 6 - 7 3 - 5 5 6 2

FAX 0 2 9 6 - 7 3 - 5 5 6 3

URL <http://www.shoseikai.com>

< 目 次 >

1. かさまグリーンハウス拠点	1
2. グリーンハウスみと拠点	10
3. グリーンハウスひたちなか拠点	23
4. ケアハウスかさま拠点	38
5. グリーンハウスともべ拠点	51
6. グリーンハウスとちぎ拠点	53
7. グリーンハウス陣屋拠点	59
8. グリーンハウスおおつか拠点	64
9. 尚生会本部	69

# 令和3年度 事業実績報告書 特別養護老人ホームかさまグリーンハウス

## 要介護度別入所者状況

性別 \ 介護度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
男	0	2	2	1	2	7
女	0	2	11	14	16	43
計	0	4	13	15	18	50
平均介護度	4.0					

## 年齢別利用者構成

性別 \ 年齢別	64歳以下	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95歳以上	合計
男	0	0	1	1	0	3	2	0	7
女	0	0	0	2	7	12	14	8	43
計	0	0	1	3	7	15	16	8	50

性別 \ 年齢	最高	最低	平均
男	94	77	84.6
女	102	77	89
全体	102	77	88.4

## 市町村別利用者状況

性別 \ 市町村	笠間市	桜川市	城里町	真岡市	合計
男	5	1	1	0	7
女	40	1	1	1	43
計	45	2	2	1	50

## 障害高齢者の日常生活自立度(寝たきり度)状況

自立度	障害無	生活自立		準寝たきり		寝たきり				合計
		J1	J2	A1	A2	B1	B2	C1	C2	
男	0	0	0	0	2	2	0	2	1	7
女	0	0	1	6	5	9	5	6	11	43
計	0	0	1	6	7	11	5	8	12	50

## 認知症高齢者の日常生活自立度

自立度	認知症無	I	II a	II b	III a	III b	IV	M	合計
男	0	1	0	0	3	0	3	0	7
女	0	1	1	5	8	3	24	1	43
計	0	2	1	5	11	3	27	1	50

余暇活動状況 感染症対策を徹底し、時間及び人数を縮小し活動を実施。

内 容	年間実施回数	年間延参加人数	実施内容
生け花クラブ	11	73	季節の花や植物を生ける
書道クラブ	9	57	季節の言葉を入所者と一緒に考え、書く
料理クラブ	1	6	職員と一緒に季節のお菓子作り
レクリエーションクラブ	2	17	入所者の筋力低下防止及び生活意欲の向上を目的に体操を主としたレクリエーション実施

ボランティア受入状況 県及び市内の感染状況を鑑み、感染症対策を徹底・時間及び人数を縮小し活動を実施。

月	延人数	内 容	月	延人数	内 容
4月	0	コロナ禍における受入自粛	10月	8	理髪
5月	0	コロナ禍における受入自粛	11月	4	理髪
6月	0	コロナ禍における受入自粛	12月	11	理髪 そば打ち
7月	7	理髪	1月	0	コロナ禍における受入自粛
8月	3	コロナ禍における受入自粛	2月	0	コロナ禍における受入自粛
9月	3	コロナ禍における受入自粛	3月	0	コロナ禍における受入自粛

会議・委員会 (感染防止対策に伴い縮小。書面での会議・委員会開催を含む)

内 容	年間実施回数	年間延参加人数	実施内容
職員会議	6	72	ケース検討、行事検討、サービス向上、勉強会
主任会議	6	45	入所検討委員会、身体拘束廃止、感染症対策、他職種間連携
サービス担当者会議	12	108	介護サービス計画の作成・評価、安全対策
給食会議	12	55	入所者の喫食状況、献立・調理内容の確認、調理員会議

## 研修報告

年月日	参加者	場 所	内 容
R. 3. 4. 16	枝川 庄五	茨城県県開発公社	2021介護報酬改定対策
R. 3. 6. 14	枝川 庄五	オンライン	安全対策担当者養成研修
R. 3. 5. 12	大久保ゆかり	オンライン	認知症介護基礎研修
R. 3. 7. 7	枝川 庄五	オンライン	自然災害・感染症BCP(事業継続計画)作成の視点について

R. 3. 8. 5	枝川 庄五	オンライン	施設長・管理者研修会
R. 3. 9. 3	枝川 庄五 菅谷ひとみ	オンライン	LIFE活用セミナー
R. 3. 9. 17	平野 彩里 椎名 明俊 仲見川レオニダ 佐野 幸子	オンライン	床ずれ対策ウェブセミナー
R. 3. 9. 17	佐野 幸子	オンライン	認知症介護基礎研修
R. 3. 10. 8	屋岡 純	オンライン	中堅ベテラン職員に求められる役割
R. 3. 10. 21	鈴木由美子	オンライン	感染症の予防医療に関する知識
R. 3. 10. 23~ R. 3. 12. 14	米川 明美	オンライン	認知症介護実践者研修
R. 3. 11. 2	雨谷 準平	オンライン	介護現場でのリスクマネジメント
R. 3. 11. 4	岩崎さやか	オンライン	認知症介護基礎研修
R. 3. 11. 11	飯村 友香	オンライン	認知症対応で求められる実践的コミュニケーション
R. 3. 11. 18	枝川 庄五	オンライン	安全対策担当者フォローアップ研修
R. 3. 12. 1 R. 3. 12. 8	枝川 庄五	オンライン	BCP(事業継続計画)策定フォローアップ研修
R. 3. 12. 10	関 千春	小美玉市文化館	レクリエーションステップアップ研修
R. 4. 1. 6	堀田 明生	オンライン	介護現場に求められる接遇
R. 4. 1. 6	平野 彩里	オンライン	認知症介護基礎研修
R. 4. 1. 18	枝川 庄五	オンライン	介護サービス事業者における業務継続計画(BCP)
R. 4. 1. 31	枝川 庄五	オンライン	安全運転管理者講習
R. 4. 2. 2	志田 華琳	オンライン	身体拘束の考え方と予防対策
R. 4. 2. 9	枝川 庄五	オンライン	リスクマネジメント研修
R. 4. 3. 4	屋岡 純 関 千春	オンライン	介護現場で求められるリーダーシップ

## 地域貢献事業

年月日	参加人数	内 容
コロナ過に伴い活動自粛		

## ひやりはっと・事故の状況

月 項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
ひやりはっと	15	22	10	14	11	17	14	5	8	9	7	5	137
介護事故	14	14	18	16	16	21	23	21	18	15	9	15	200

職員勉強会 (感染防止対策に伴い縮小。書面での会議・委員会開催を含む)

年月日	人数	内 容	年月日	人数	内 容
R3.4.13	16	高齢者の尊厳について①	R3.10.18	12	医療面について②(感染症)
R3.5.10	16	リスクマネジメントについて①	R3.11.8	18	リスクマネジメントについて①
R3.6.8	16	医療面について①(感染症)	R3.12.13	12	感染症発生時の対応について②

R3.7.6	19	緊急時対応について	R3.1.15	16	感染症発生時の対応について③
R3.8.3	30	高齢者の尊厳について②	R4.2.14	16	高齢者の尊厳について③
R3.9.13	17	感染症発生時の対応について①	R4.3.14	12	医療面について③(感染症の理解)

## 年間サービス実施目標

目 標	9月評価	3月評価	年間評価
(1)管理:稼働率・予算の執行状況(3か月平均稼働率S:95%以上 A:94%以上 B:93%以上 C:それ以下)	C	B	B
(2)介護①:感染予防の知識をより高め、安心・安全で「信頼されるサービス」の提供を実践する理解度(S:6回以上 A:5回 B:4回 C:3回以下)	S	S	S
介護②:感染防止トレーニング・研修の実施(実施回数 S:6回以上 A:5回 B:4回 C:3回以下)	S	S	S
(3)看護:入院の削減(入院者率 S:7%以下 A:7~8% B:9~10% C:10%以上)	B	A	A
(4)栄養・調理:低リスク者の体重維持管理(高リスク移行割合 S:0% A:1~3% B:4~6% C:7%以上)	A	A	A

## 短期入所生活介護利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
目標	285	295	285	295	295	285	295	285	295	295	265	295	3,470
平均	9.5	9.5	9.5	9.5	9.5	9.5	9.5	9.5	9.5	9.5	9.5	9.5	9.5
実績	249	273	306	305	295	259	271	270	298	305	300	313	3,444
平均	8.3	8.8	10.2	9.8	9.5	8.6	8.7	9.0	9.6	9.8	10.7	10.1	9.44

## 総括

### 【入所】

入所者の重度化・認知症の進行がみられ、身体介助(全介助)が必要となる方が増加した事で、適切な支援方法及び事故防止する為の検討会を開催し全職員間で共通理解を図りました。今年度は入院者が多く、長期入院による退所者もございました。今後も、入所者の健康管理について、異常の早期発見・早期受診対応を行い、長期入院とならぬよう介護と看護及び医療機関との連携を図ってまいります。今年に入り「まん延防止等重点措置等」の発出の為、ご家族には面会の制限及び中止の措置をとらせて頂いており、不安な日々を過ごしていたかと思いますが、高齢者施設において「感染の予防及びまん延防止」に万全を期していく事が重要となりますので、引き続き、各関係機関と連携し支援して参りたいと思います。

### 【短期入所】

感染症拡大防止の対応を徹底した上で、緊急依頼に対しても空床ベッドを活用する等の柔軟な受け入れに努めてまいりました。短期入所利用者の多数が特養入所となるケースも増え、短期入所においても重度化が見られております。特養同様に、「感染の予防及びまん延防止」に努め、居宅介護事業所へは「安心して」依頼して頂けるよう、常に最新の情報提供を行ってまいります。

# 令和3年度 事業実績報告書

認知症対応型通所介護 かさまグリーンハウス

## 要介護度別利用者状況

要介護 性別	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
男	1	0	1	1	0	3
女	4	5	3	3	2	17
計	5	5	4	4	2	20
平均介護度	2.6					

## 年齢別利用者構成

年齢別 性別	64歳以下	65~69歳	70~74歳	75~79歳	80~84歳	85~89歳	90~94歳	95歳以上	合計
男	0	0	2	0	1	0	0	0	3
女	1	0	3	3	3	3	3	1	17
計	1	0	5	3	4	3	3	1	20

年齢 性別	最高	最低	平均
男	82	73	76
女	102	60	82.2
全体	102	60	81.3

## 会議・委員会

内 容	年間 実施回数	年間延 参加人数	実施内容
通所職員会議(文書含む)	12	84	個別支援、業務連絡、伝達事項
安全対策会議(文書含む)	12	84	安全対策、感染症対策
運営推進会議(文書含む)	2	20	事業計画、実績報告

## 研修報告

年月日	参加者	場 所	内 容
R3.5~11	松本 智美	オンライン	介護支援専門員 再研修
R3.7~8	小栗 真実	オンライン	認知症基礎研修
R3.9.17	石井 久美子	オンライン	ボディショニングについて
R3.9.17	成田 留美子	オンライン	ボディショニングについて

## ひやりはっと・事故の状況

月 項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
ひやりはっと	1	1	1	0	2	0	0	3	0	1	0	2	11
介護事故	1	1	1	1	3	0	2	1	0	0	0	0	10

## 職員勉強会

年月日	人数	内 容	年月日	人数	内 容
R2.4.23	8	令和3年度介護報酬改定の主な事項について	R2.10.19	7	認知症高齢者の尊厳について③
R2.5.14	8	リスクマネジメントについて(安全対策委員会)	R2.11.19	6	ポティショニングについて(研修報告、実践)
R2.6.24	8	高齢者の尊厳について①(虐待防止委員会)	R2.12.16	6	感染症対策について
R2.7.16	8	高齢者の尊厳について②(身体拘束適正化委員会)	R3.1.21	6	認知症高齢者の尊厳について④
R2.8.12	8	第一四半期の振り返りについて(各委員会からの報告)	R3.2.17	6	認知症高齢者の尊厳について(虐待防止委員会)
R2.9.17	7	緊急時の対応について	R3.3.17	6	認知症高齢者の尊厳について⑤

## 年間サービス実施目標

目 標	9月評価	3月評価	年間評価
① 感染症対策 (勉強会の理解度 S:6回以上 A:5回 B:4回 C:3回以下)	S	S	S
② 多職種連携による評価 多職種による認知症ケアプログラムを提供し、介護・看護の評価を行いサービス継続に繋げる。 (登録人数 S:6事例以上 A:5事例 B:4事例 C:3事例以下)	S	S	S

## 認知症対応型通所介護利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
目標	229	220	229	229	220	229	220	229	229	208	208	240	2,690
実績	205	209	215	227	220	230	234	244	252	203	205	224	2,668
平均	9.3	10.0	9.8	9.9	11.6	10.5	10.6	11.6	13.3	10.2	10.3	9.7	10.3

## 総括

今年度の平均介護度は昨年度と比較し軽減傾向にありました。要因としては、一人ひとりに合ったケアの充実を図る事が出来るよう、令和元年度より取り入れている「認知症プログラム」実施継続の効果もあるかと思われま。中でも運動・知的・生活プログラムに重点を置き、日常生活に必要な運動・動作が出来るよう継続してきた結果、ご自分で出来る事が増え、さらに筋力・認知機能低下予防に繋げる事が出来たと思えます。

感染拡大防止の為に外出行事の実施が難しい状況ではありますが、少しでもご利用者に喜んで頂けるよう四季折々の行事を企画・実施していきたいと思えます。

認知症介護を実践しておられるご家族のご負担を少しでも軽減できますよう、感染症対策を講じながら、今後もご利用者の要望に沿った支援はもちろんの事、充実したプログラムの実施に努めてまいります。



# 令和3年度 事業実績報告書 認知症対応型グループホームかさまグリーンハウス

## 要介護度別入所者状況

介護度 性別	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
男	0	0	0	0	0	0	0
女	1	0	3	2	3	0	9
計	1	0	3	2	3	0	9
平均介護度	2.72						

## 年齢別入所者構成

年齢 性別	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95歳以上	合計
男	0	0	0	0	0	0	0	0
女	2	0	0	1	2	2	2	9
計	2	0	0	1	2	2	2	9

年齢 性別	最高	最低	平均
男	0	0	0
女	101	66	85.4
全体	101	66	85.4

## 障害高齢者の日常生活自立度(寝たきり度)状況

自立度	生活自立		準寝たきり		寝たきり				合計
	J1	J2	A1	A2	B1	B2	C2	C2	
男	0	0	0	0	0	0	0	0	0
女	1	1	2	5	0	0	0	0	9
計	1	1	2	5	0	0	0	0	9

## 認知症高齢者の日常生活自立度

自立度	Ⅱa	Ⅱb	Ⅲa	Ⅲb	Ⅳ	M	合計
男	0	0	0	0	0	0	0
女	2	1	4	1	1	0	9
計	2	1	4	1	1	0	9

## 会議

内容	年間 実施回数	年間延 参加人数	実施内容
職員会議	12	68	個別ケア・各委員会より

安全対策会議	12	68	表皮剥離の方の対応について 転倒リスクの高い方の対応について
運営推進会議	6	69	入所者状況報告・各委員会より コロナウイルス感染症について

### 研修報告

年月日	場 所	内 容
R3.4.1	法人本部	新採用者研修
R3.4.2	法人本部	新採用者研修
R3.9.3	かさま特養	中途採用者研修
R3.12.3	法人本部	中途採用者研修

### ひやりはっと・事故の状況

月 項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
ひやりはっと	0	1	0	0	0	0	0	3	2	1	2	0	9
介護事故	3	2	2	1	1	2	0	0	0	0	1	0	12

### 職員勉強会

年月日	人数	内 容	年月日	人数	内 容
R3.4.22	7	皮膚疾患について① 感染症について	R3.10.25	5	リスクマネジメントについて 感染症について
R3.5.25	7	緊急時の対応について 感染症について	R3.11.25	5	認知症ケアについて 感染症について
R3.6.24	7	高齢者の尊厳について①(書面) 感染症について	R3.12.16	5	高齢者の尊厳について② 感染症について
R3.7.29	5	身体拘束について① 感染症について	R4.1.24	6	皮膚疾患について②(書面) 感染症について
R3.8.23	4	人認知症ケアについて① 感染症について	R4.2.24	5	身体拘束について②(書面) 感染症について
R3.9.30	4	高齢者に多い疾患について 感染症について	R4.3.24	5	認知症ケアについて②(書面) 感染症について

## 【共用型通所】

### 要介護度別利用者状況

介護度 性別	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
男	0	0	0	0	0	0
女	0	1	3	0	2	6
計	0	1	3	0	2	6
平均介護度	3.5					

### 年齢別利用者構成

年齢 性別	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95歳以上	合計
男	0	0	0	0	0	0	0	0
女	0	1	2	0	1	2	0	6
計	0	1	2	0	1	2	0	6

性別	年齢	最高	最低	平均
男		0	0	0
女		74	93	83.3
全体		74	93	83.3

### 障害高齢者の日常生活自立度(寝たきり度)状況

自立度	生活自立		準寝たきり		寝たきり				合計
	J1	J2	A1	A2	B1	B2	C1	C2	
男	0	0	0	0	0	0	0	0	0
女	0	0	5	0	0	1	0	0	6
計	0	0	5	0	0	1	0	0	6

### 認知症高齢者の日常生活自立度

自立度	Ⅱa	Ⅱb	Ⅲa	Ⅲb	Ⅳ	M	合計
男	0	0	0	0	0	0	0
女	0	4	1	0	1	0	6
計	0	4	1	0	1	0	6

### 年間サービス実施目標

目標	9月評価	3月評価	年間評価
①感染症予防対策 感染症予防の意識をより高め安心、安全で「信頼されるサービス」に提供を実践する。 (感染者0人 S評価 1人以上 A評価 3人以上 B評価 5人以上 C評価)	S	B	A
②感染者予防の為、施設取り組める事を念頭に、利用者に合った活動内容を作成し、化し、上司、口腔機能低下を防ぎ、自分らしい生活を送れる様に実施して行く。 (達成 A:4人達成 B:3人達成 C:3人以下達成)	A	A	A
③手洗いを十分行い、マスク、エプロン、三角巾を着用し、利用者の認知症ケア、一緒に、作る喜び、食べる楽しみ、行事食(おやつを基本)季節感を感じられる郷土食を取り入れ、食への関心を持ち、昔を思い出しながら実施する。 (S:7回以上実施 A:6回以上実施 B:5回以上実施 C:4回以上実施)	S	S	S

### 認知症高齢者グループホーム利用実績(定員9名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
目標	9.0	9.0	9.0	9.0	9.0	9.0	9.0	9.0	9.0	9.0	9.0	9.0	9.0
実績	9.0	9.0	9.0	8.7	8.0	8.2	7.5	8.5	9.0	9.0	8.5	9.0	8.58

### 総括

今年度も感染症対策に重点を置き、手洗い、うがい、マスク着用、検温測定、換気、消毒、3密を避ける事に心掛けて参りました。感染症拡大防止の為、外出行事やボランティアの受け入れが出来ない状況ではありましたが、グループホームの特色を出す為に、「入居者にとって施設内で出来る行事は何か」など、入居者ひとり一人の残存機能を見極めつつ、入所者が関心を持って頂けるような活動を取り入れた事で、笑顔見せて下さいました。また、レクリエーションの中でも毎日少しずつ感染症に対する内容を取り入れた事で、感染症に対する意識を高めた生活が送れる事が出来たかとも思います。今年度は若年性の方が入居されるなど、グループホームとして本来の役割を持ち支援する事ができたかと思えます。来年度は入居者全員が興味や関心を持ち、目的や目標を持つ事の出来る活動を取り入れる事が出来るよう心掛け、職員も知識や技術の向上に努める事で、「安心安全で地域に根差した事業所」としてサービスの提供に努めて参りたいと思えます。

# 令和3年度 事業実績報告書

## 介護老人福祉施設グリーンハウスみと

### 要介護度別入所者状況

介護度 性別	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
男	0	4	14	4	7	29
女	0	1	31	22	7	61
計	0	5	45	26	14	90
平均介護度	3.6					

### 年齢別利用者構成

年齢 性別	64歳以下	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95歳以上	合計
男	0	1	1	5	3	11	6	2	29
女	2	1	0	4	10	10	22	12	61
計	2	2	1	9	13	21	28	14	90

年齢 性別	最高	最低	平均
男	100	68	85.5
女	103	63	88.4
全体	103	68	87.5

### 市町村別利用者状況

市町村 性別	水戸市	ひたちなか市	大洗町	東海村	常陸大宮	福島県浪江町	合計
男	22	5	1	0	0	1	29
女	49	5	5	1	1	0	61
計	71	10	6	1	1	1	90

### 障害高齢者の日常生活自立度（寝たきり度）状況

自立度	障害無	生活自立		準寝たきり		寝たきり				合計
		J1	J2	A1	A2	B1	B2	C1	C2	
男	0	0	1	5	9	6	4	2	2	29
女	0	1	5	13	7	19	5	2	9	61
計	0	1	6	18	16	25	9	4	11	90

## 認知症高齢者の日常生活自立度

自立度	認知症無	I	IIa	IIb	IIIa	IIIb	IV	M	合計
男	4	3	1	6	8	3	4	0	29
女	13	6	3	9	18	3	9	0	61
計	17	9	4	15	26	6	13	0	90

## 余暇活動状況

内 容	年間実施回数	年間延参加人数	実施内容
調理	1	18	パスタ作り
テイクアウト	1	18	ガストの食事をテイクアウト
敬老会	5	84	食事会・写真撮影
ハロウィン	1	22	写真撮影
おやつ作り	20	251	バナナクレープ・ワッフル・ホットケーキ パフェ・ふかし芋・かき氷・たこ焼き
バイキング	1	17	お寿司バイキング
お正月	5	82	書初め・おしるこ作り・ゲームなど
クリスマス	5	79	おやつ作り
レクリエーション	3	43	スイカ割り・風船バレー・フラワーアレンジメント

## ボランティア受入状況

月	延人数	内 容
10月	4名	介護福祉士養成校（介護実習）

## 会議・委員会

内 容	年間 実施回数	年間延 参加人数	実施内容
リーダー会議	12	169	ユニット目標の達成報告、業務改善、その他連絡事項
ユニット会議	12	366	ケース検討会、リーダー会議の伝達、事故報告、業務改善等
安全対策会議	20	100	事故分析について、辞令による再発防止検討会
給食委員会	12	108	食事についての要望や問題点及び改善点
入所検討委員会	4	60	入所順位と新入所者検討
身体拘束適正化委員会	12	169	身体拘束の見直し及び解除検討、権利擁護
感染症対策委員会	12	169	感染症の知識について、標準予防策
接遇委員会	12	102	褥瘡対策・浴室の環境改善・身だしなみなど

## 研修報告

年月日	参加者	場 所	内 容
R3.5.20	佐藤 友哉	オンライン	褥瘡対策について

R3.8.18	大野 健一郎 他11名	機能訓練室	要介護高齢者の口腔ケアについて
R3.6.7	木曾 雄大	オンライン	アンガーマネジメントについて
R3.7.6	山口 諭	オンライン	安全対策担当者要請研修
R3.7.7	梅井 正道・片倉 克彦	オンライン	BCP（業務継続計画）の策定
R3.7.21	園部 徹哉	オンライン	接遇マナー研修
R3.7.30	佐藤 友哉	オンライン	接遇マナー研修
R3.8.11	菊田 美空	赤塚ミオス	身体拘束・虐待防止研修
R3.9.25	寺門 稜	オンライン	接遇マナー研修
R3.10.8	大野 健一郎	オンライン	介護保険制度改正点での対策（LIFE対策）
R3.10.15	安積 一輝	オンライン	社会福祉施設等中堅職員研修B
R3.11.15	林 義之	オンライン	介護リーダーのコミュニケーション技術
R3.11.17	寺坂 郁哉	茨城県総合福祉会館	茨城県災害派遣福祉チーム員研修
R3.12.1	大谷 拓也	オンライン	素晴らしい職場を作る従業員の働き方
R3.12.8	吉岡 佳世子	オンライン	アンガーマネジメントについて
R4.1.17	片倉 克彦	オンライン	ケアマネ技術向上セミナー
R4.2.9	横須賀 厚樹	オンライン	リスクマネジメント研修B
R4.3.22	池田 翔太郎	ザ・ヒロサワシティ会館	技能実習責任者講習

## 地域貢献事業

年月日	参加人数	内 容
		コロナ禍のため活動自粛

## ひやりはっと・事故の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
ひやりはっと	46	48	48	44	35	35	34	68	52	42	40	43	535
介護事故	9	15	12	9	13	8	12	8	10	14	13	19	142

## 職員勉強会

年月日	人数	内 容	年月日	人数	内 容
R3.4.21	15	高齢者虐待について	R3.10.20	15	医療面について
R3.5.19	13	接遇について	R3.11.17	15	認知症ケアについて
R3.6.16	12	新型コロナワクチンについて	R3.12.15	13	高齢者の尊厳について
R3.7.21	15	居室の室温について	R4.1.19	13	リスクマネジメントについて
R3.8.18	13	24Hシートについて	R4.2.16	15	職員教育について 業務継続計画（BCP）につい
R3.9.15	15	高齢者の尊厳について	R3.3.16	18	介護現場のパワハラについて

## 年間サービス実施目標

目 標	9月評価	3月評価	年間評価
感染症に関する研修・勉強の開催や、最新情報の共有に努め感染予防の意識を高める。 (実施回数 S:6回以上 A:5回 B:4回 C:3回以下)	A	A	A
皮膚トラブル防止」「誤薬ゼロ」「行事の企画」「外出の計画」「尿路感染の予防」等、各ユニット目標の達成 (評価方法 S:100%~95%以上、A95%未満~90%以上、B:90%未満~85%以上、C:85%未満)	B	A	A
入所者の健康管理に努め、異常の早期発見と対応を行い入院を避ける。 (入院者率 S:5%以下 A:5~7% B:7~9% C:10%以上)	A	A	A
低リスク者の体重維持管理 (中リスク移行割合 S:0% A:3%以下 B:5%以下 C:7%以下)	A	A	A

## 短期入所生活介護利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
目標	285	295	285	295	295	285	295	285	295	295	280	295	3,485
平均	9.50	9.50	9.50	9.50	9.50	9.50	9.50	9.50	9.50	9.50	9.50	9.50	9.50
実績	305	280	298	272	298	286	312	300	328	341	285	274	3,697
平均	10.17	9.03	9.93	8.77	9.61	9.53	10.06	10.00	10.58	11.00	10.18	8.84	9.81

## 総括

新型コロナウイルスの猛威は収まることなく、変異株のまん延など入居者の健康を脅かす一年となりましたが、医療機関や保健所との連携や、感染症対策委員会を中心に職員の予防に対する意識向上に努めたことで、入居者に感染者を出すことなく、被害を最小限に抑えることができた。

### 【特養】

医療機関からの依頼、受入れが増え、入居者の健康管理が困難な状況の中、退院前の情報把握や受入れ後のフォロー体制を構築することで、安全な施設生活を提供することができた。

### 【短期】

特養の入院者居室を有効活用して長期利用希望者の受け入れをスムーズに行う事ができた。今後も居宅ケアマネジャーや病院ソーシャルワーカーとの関係を保ち、幅広くご要望に対応できるよう努めたい。

# 令和3年度 事業実績報告書

## 通所介護センター

### 要介護度別利用者状況

要介護 性別	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
男	0	0	5	4	4	2	0	15
女	0	8	5	8	4	3	0	28
計	0	8	10	12	8	5	0	43
平均介護度	2							

### 年齢別利用者構成

年齢別 性別	64歳以下	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95歳以上	合計
男	0	0	1	2	2	6	3	1	15
女	0	0	0	0	3	14	9	2	28
計	0	0	1	2	5	20	12	3	43

年齢 性別	最高	最低	平均
男	95	73	85
女	95	83	89
全体	95	73	87

### 会議

内 容	年間 実施回数	年間延 参加人数	実施内容
スタッフ会議	12	103	業務内容の見直し、その他連絡事項
安全対策会議	12	103	事故の分析、再防止検討など

### 研修報告

年月日	参加者	場 所	内 容
R3. 8. 7	宇留野 淳	オンライン研修	ADL維持等加算対応バーセルインデックス研修会

### ひやりはっと・事故の状況

月 項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
ひやりはっと	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	1	3
介護事故	1	0	0	1	1	0	0	1	2	0	0	3	9



## 職員勉強会

年月日	人数	内 容	年月日	人数	内 容
R3. 4. 12	9	連絡帳の記入の仕方について	R3. 10. 18	9	クッション言葉について
R3. 5. 22	9	高齢者利用者同士のトラブル回避について	R3. 11. 29	9	身体拘束について
R3. 6. 21	9	人気施設の作り方について	R3. 12. 20	7	権利擁護について
R3. 7. 26	9	LIFEについて	R4. 1. 31	7	業務継続計画（BCP）について
R3. 8. 30	9	プライバシー保護について	R4. 2. 28	8	他職種連携について
R3. 9. 27	9	誤嚥について	R4. 3.28	9	地域のデイサービスについて

## 年間サービス実施目標

目 標	9月評価	3月評価	年間評価
感染症に関する研修・勉強の開催や、最新情報の共有に努め、感染予防の意識を高める。 (実施回数 S：6回以上 A：5回 B：4回 C：3回以下)	S	S	S
一人一人の職員が、介護相談の窓口として機能し、ご利用者及びご家族の生活に関するニーズの聴取、問題解決に結び付ける。 (相談件数 S：6件以上、A：5件、B:4件、C:3件以下)	B	B	B
利用者が尊厳を保持して利用できるよう、知識の習得と、適切な言葉遣いや対応に心掛けた支援や介助を行う。 (理解度 S：100点～91点、A90点～81点以上、B:80点未満～71点以上、C:70点以下)	S	S	S

## 通所介護利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
目標	546	546	546	567	504	546	546	546	546	504	504	567	6,468
実績	590	570	524	522	495	544	524	573	555	467	406	492	6,262

## 総括

令和3年度において、ご利用者に1名の感染者があったものの、事業運営停止に追い込まれるような事態には至りませんでした。しかし、コロナ感染が心配で利用を自粛される方が多く、実績の減少が続きました。そのような中でも既存利用者から友人や地域の方を紹介いただき、利用に繋げることができました。  
今後ご利用者が安心して過ごしていただけるよう職員一丸となり、継続して新型コロナウイルスの予防に取り組んでまいります。

# 令和3年度 事業実績報告書 居宅介護支援事業所グリーンハウスみと

## 居宅介護支援、介護予防支援利用者

地区 \ 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	延べ
水戸市	97	98	97	104	107	108	106	112	105	109	100	99	1242
大洗町	5	4	3	3	3	3	3	3	4	4	3	3	41
ひたちなか	6	7	6	8	6	6	7	8	5	5	4	4	72
東海村	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
北茨城市	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
佐野市	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	9
支援(水戸)	15	16	17	15	15	16	17	17	15	15	15	15	188
合計	126	128	126	133	134	136	136	143	132	135	124	123	1576

## 要介護度別利用者状況

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
男	1	1	16	15	4	5	0
女	2	11	25	27	9	8	0
計	3	12	41	42	13	13	0
平均介護度	1.77						

## 年齢別利用者構成

	64歳以下	65歳以上	70歳以上	75歳以上	80歳以上	85歳以上	90歳以上
男	0	2	3	4	8	12	8
女	1	1	5	2	9	24	18
計	1	3	8	6	17	36	26

	最高	最低	平均
男	96	65	80
女	104	50	77
全体	104	50	78

## 会議等参加状況

年月日	参加者	場所	内容
R3.4.27	大木	稲荷第一市民センター	第1回常澄圏域地域ケア連携会議
R3.5.11	大木、関沢	稲荷第一市民センター	地域ケア個別会議
R3.6.8	大木	稲荷第一市民センター	第2回常澄圏域地域ケア連携会議
R3.7.13	大木	稲荷第一市民センター	地域ケア個別会議
R3.8.10	大木	稲荷第一市民センター	第3回常澄圏域地域ケア連携会議
R3.10.12	大木	稲荷第一市民センター	第4回常澄圏域地域ケア連携会議
R3.11.9	大木	稲荷第一市民センター	地域ケア個別会議
R3.12.21	永田	稲荷第一市民センター	第5回常澄圏域地域ケア連携会議
R4.1.14	大木	稲荷第一市民センター	地域ケア個別会議
R4.2.22	大木	稲荷第一市民センター	第6回常澄圏域地域ケア連携会議
R4.3.22	大木	稲荷第一市民センター	地域ケア個別連絡

## 研修報告

年月日	参加者	場 所	内 容
R3.6.29	大木・関沢	オンライン	情報提供研修会
R3.7.14	大木	大久保病院	脳内物質が気分を変える
R3.8.6	大木・永田	オンライン	医療観察制度を学ぶ
R3.10.12	大木	オンライン	事例を通して妄想について考える
R4.1.17	永田・関沢	オンライン	ケアマネ技術向上セミナーⅦ
R4.2.3	大木	オンライン	認知症の方は何を期待しているか
R4.2.28	大木	オンライン	スーパービジョン

## 年間サービス実施目標

目 標	9月評価	12月評価	年間評価
利用者の意思及び人格を尊重し、常に利用者の立場に立って、サービス計画書を組み立てているか会議の中で、新規相談報告やケース検討、ケアプラン検証の場面で確認する。	A	A	A
質の高いケアマネジメントが提供できるよう、各担当利用者のアセスメントからモニタリングの流れを検証確認する機会を設けることで、ケアプランとニーズの接合性を図る。	S	S	S
内・外部研修への参加等による自己研鑽を怠ることがなく、専門職としての資質向上に努める。	A	A	A

## 総括

<p>今年度は、困難ケースに対する支援方法について全員で意見を出し合い対応策を検討できました。多角的かつ俯瞰的にケースをみるように心掛け、課題整理総括表を活用することで根拠のあるケアマネジメントに努めております。。前期は順調に新規ケースを増やすことができましたが、後期に入り新規者数よりも終了者数が上回る月が増えてしまいました。研修に関しては、ZOOM研修を中心に参加することができています。。</p> <p>今後は、同法人の高齢者支援センターと連携し、要介護または要支援となった地域の皆様が可能限り居宅において自立した日常生活を営むことができるよう取組み、地域で選ばれる事業所を目指していきます。</p>
---

# 令和3年度 事業実績報告書 水戸市常澄高齢者支援センター

相談者調(年度内新規相談のみ)

地区		月												合計
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
地区	稲荷第一	2	3	3	2	0	3	3	2	8	2	2	3	33
	稲荷第二	0	4	1	0	3	0	3	1	4	2	0	0	18
	下大野	2	3	2	2	3	5	4	3	3	0	2	4	33
	大場	2	1	3	0	2	1	1	1	4	2	2	0	19
	圏域外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
合計		6	11	9	4	8	9	11	7	19	6	7	7	104

年齢別利用者構成

年齢 性別	64歳以下	65～ 69歳	70～ 74歳	75～ 79歳	80～ 84歳	85～ 89歳	90～ 94歳	95歳 以上	合計
男	1	2	5	13	12	3	4	1	41
女	0	6	4	14	18	17	2	2	63
計	1	8	9	27	30	20	6	3	104

年齢 性別	最高	最低	平均
男	95	63	79.3
女	95	65	80.4
全体	95	63	80.0

相談内容内訳

内容		月												計
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
総合相談 支援	ひとり暮らし	4	18	2	19	34	27	22	33	33	18	17	28	255
	高齢世帯	1	7	3	3	19	9	4	1	11	6	4	0	68
	介護予防	0	0	0	0	0	0	6	0	0	0	0	3	9
	施設入所	1	1	0	0	0	0	2	0	6	4	1	14	29
	介護方法	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	認知症	0	0	1	9	1	3	6	3	27	24	10	8	92
	精神疾患	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	福祉・保健 サービス	137	96	106	59	47	72	109	103	62	52	65	116	1024
	医療	2	1	2	1	0	2	3	0	17	10	17	23	78

総合相談 支援	住まい 住宅改修	8	0	0	0	0	0	0	7	3	4	6	8	36
	経済状態	0	0	0	0	0	0	0	8	0	0	0	0	8
	家族状況	0	1	0	0	0	0	3	0	0	0	0	4	8
	生活関連	9	1	0	7	1	1	5	12	15	0	7	4	62
2次予防事業		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	6
総合相談 支援	虐待関連	1	6	1	2	0	0	0	0	0	4	7	9	30
	虐待の届出 ・通報	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	虐待応協議、 立入、保護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	日常生活 自立支援事 業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	4	1	8
	成年 後見制度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	消費者 トラブル	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ケアマネ相談		1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	1	1	5
地域ケア個別会議		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		164	131	117	100	102	114	160	167	174	125	139	225	1718

#### 会議等参加状況

年月日	会議名	参加者	内容
R3.4.8	常澄地区民生委員協議会	岩下・長谷川	職員紹介・連絡事項・ケース相談
R3.4.20	地域包括支援センター連絡会議	岩下・長谷川	実施報告・連絡事項・協議事項
R3.4.20	認知症地域支援推進員会議	岩下	連絡事項・協議事項
R3.4.27	常澄地区事業者連絡会議	岩下・長谷川	連絡事項・協議事項
R3.5.11	地域ケア個別会議	岩下・長谷川	見える事例検討会
R3.5.13	常澄地区民生委員協議会	岩下・長谷川	連絡事項・ケース相談
R3.5.21	地域包括保健師部会	長谷川	実施報告・連絡事項・協議事項
R3.5.25	水戸市コアメンバー会議	岩下	連絡事項・協議事項
R3.5.27	地域包括主任ケアマネ部会	岩下	実施報告・連絡事項・協議事項
R3.5.28	GHあすなる運営推進会議(書面)	岩下	実施報告・連絡事項
R3.5.31	GHぐるんぱの杜運営推進会議(書面)	岩下	実施報告・連絡事項
R3.6.8	常澄地区事業者連絡会議	岩下・長谷川	連絡事項・協議事項
R3.6.10	常澄地区民生委員協議会	岩下・長谷川	連絡事項・ケース相談
R3.6.18	地域包括支援センター連絡会議	岩下・長谷川	実施報告・連絡事項・協議事項
R3.6.18	認知症地域支援推進員会議	長谷川	実施報告・連絡事項・協議事項
R3.7.1	DS百合が丘運営推進会議(書面)	岩下	実施報告・連絡事項
R3.7.8	常澄地区民生委員協議会	岩下	連絡事項・ケース相談

R3.7.13	地域ケア個別会議	岩下・長谷川	見える事例検討会
R3.7.20	地域包括社会福祉士部会	長谷川	実施報告・連絡事項・協議事項
R3.7.20	地域包括保健師部会	岩下	実施報告・連絡事項・協議事項
R3.7.21	常澄地区第2層協議体検討会議	岩下	実施報告・連絡事項・協議事項
R3.8.10	常澄地区事業者連絡会議	岩下・長谷川	連絡事項・協議事項
R3.8.16	地域包括支援センター連絡会議	岩下・長谷川	実施報告・連絡事項・協議事項
R3.8.16	認知症地域支援推進員会議	長谷川	実施報告・連絡事項・協議事項
R3.8.18	常澄地区第2層協議体検討会議	岩下	連絡事項・協議事項
R3.8.19	DSつねずみ接骨院運営推進会議(書面)	岩下	実施報告・連絡事項
R3.9.14	地域包括主任ケアマネ部会	岩下	実施報告・連絡事項・協議事項
R3.9.17	DSピースフルウッズ東前運営推進会議(書面)	岩下	実施報告・連絡事項
R3.9.17	GHぐるんぱの杜運営推進会議(書面)	岩下	実施報告・連絡事項
R3.10.6	水戸市社会福祉協議会常澄ブロック会議	岩下・長谷川	実施報告・連絡事項・協議事項
R3.10.7	常澄地区民生委員協議会	長谷川	連絡事項・ケース相談
R3.10.12	常澄地区事業者連絡会議	岩下・長谷川	連絡事項・協議事項
R3.10.19	地域包括支援センター連絡会議	岩下・長谷川	実施報告・連絡事項・協議事項
R3.10.19	認知症地域支援推進員会議	岩下・長谷川	実施報告・連絡事項・協議事項
R3.11.9	地域ケア個別会議	岩下・長谷川	見える事例検討会
R3.11.11	常澄地区民生委員協議会	岩下	連絡事項・ケース相談
R3.11.16	地域包括保健師部会	長谷川	実施報告・連絡事項・協議事項
R3.11.16	地域包括主任ケアマネ部会	岩下	実施報告・連絡事項・協議事項
R3.12.6	DS百合が丘運営推進会議	長谷川	実施報告・連絡事項
R3.12.9	常澄地区民生委員協議会	岩下	連絡事項・ケース相談
R3.12.14	地域包括支援センター連絡会議	長谷川	実施報告・連絡事項・協議事項
R3.12.14	認知症地域支援推進員会議	長谷川	実施報告・連絡事項・協議事項
R3.12.21	常澄地区事業者連絡会議	岩下・長谷川	連絡事項・協議事項
R4.1.14	DSつねずみ接骨院運営推進会議	長谷川	実施報告・連絡事項
R4.1.14	地域ケア個別会議	岩下・長谷川	見える事例検討会
R4.1.18	地域包括社会福祉士部会	長谷川	実施報告・連絡事項・協議事項
R4.1.18	地域包括主任ケアマネ部会	岩下	実施報告・連絡事項・協議事項
R4.1.21	GHぐるんぱの杜運営推進会議(書面)	岩下	実施報告・連絡事項
R4.2.15	地域包括保健師部会	岩下	実施報告・連絡事項・協議事項
R4.2.15	地域包括社会福祉士部会	長谷川	実施報告・連絡事項・協議事項
R4.2.22	常澄地区事業者連絡会議	岩下・長谷川	連絡事項・協議事項
R4.2.28	GHあすなる運営推進会議(書面)	岩下	実施報告・連絡事項

R4.3.10	常澄地区民生委員協議会	岩下	連絡事項・ケース相談
R4.3.12	稲荷第一地区地域いきいきコミュニティーク	長谷川	第2層コーディネーターとの話し合い
R4.3.15	水戸市コアメンバー会議	岩下	連絡事項・協議事項
R4.3.17	地域包括支援センター連絡会議	岩下・長谷川	実施報告・連絡事項・協議事項
R4.3.17	認知症地域支援推進員会議	岩下・長谷川	実施報告・連絡事項・協議事項
R4.3.18	GHぐるんぱの杜運営推進会議(書面)	岩下	実施報告・連絡事項
R4.3.18	DSピースフルウッズ東前運営推進会議(書面)	岩下	実施報告・連絡事項
R4.3.22	地域ケア個別会議	岩下・長谷川	見える事例検討会

## 研修報告

年月日	参加者	場所	内容
R3.5.18	長谷川	オンライン	第1回市町村等認知症担当者研修会
R3.6.15	岩下・長谷川	オンライン	2001年熱中症対策説明会
R3.6.24	岩下	内原高齢者支援	人生会議と在宅医療を考える」講座
R3.6.25	岩下・長谷川	オンライン	水戸保健医療圏認知症疾患医療連携協議会
R3.6.29	岩下・長谷川	オンライン	水戸市情報提供研修会
R3.7.24	岩下・長谷川	オンライン	レビー小体型認知症サポートネットワーク研修会
R3.8.3	岩下・長谷川	オンライン	医療観察制度に関する研修会
R3.8.11	長谷川	オンライン	地域包括支援センター職員基礎研修
R3.8.23	長谷川	オンライン	地域包括支援センター職員初任者研修
R3.9.3	岩下・長谷川	オンライン	高齢者虐待防止に関する研修会
R3.9.6	岩下	オンライン	チームオレンジ・コーディネーター研修
R3.9.14	長谷川	オンライン	認知症地域支援推進員研修
R3.9.14	岩下	オンライン	地域包括支援センター職員現任者研修
R3.10.4	長谷川	オンライン	高齢者虐待対応現任者標準研修
R3.10.12	岩下・長谷川	オンライン	汐ヶ崎病院認知症疾患医療センターオンライン講演会
R3.10.13	岩下	オンライン	全極地域包括・在宅介護支援センター研究大会
R3.10.23	長谷川	オンライン	高齢者虐待対応現任者標準研修
R3.11.8	岩下・長谷川	稲荷第一市民センター	認知症サポーター養成研修
R3.11.12	岩下・長谷川	オンライン	日本司法支援センター茨城地方協議会・生活困窮者支援の基礎
R3.12.1	岩下・長谷川	オンライン	毎日の健康のための体調管理のコツ
R3.12.2	岩下・長谷川	オンライン	第2回水戸保健医療圏認知症疾患医療連携協議会
R3.12.9	長谷川	オンライン	キャラバンメイト養成研修
R3.12.17	岩下・長谷川	オンライン	令和3年度福祉コミュニティづくり推進のつどい
R4.1.17	岩下・長谷川	オンライン	令和3年度「ケアマネ技術向上セミナーⅦ」研修会

R4.1.28	岩下	オンライン	認知症地域支援体制推進全国合同セミナー
R4.2.18	岩下・長谷川	オンライン	認知症介護研究・研修東京センター「すいしんいんセッション」
R4.2.25	岩下・長谷川	オンライン	茨城県地域包括・在宅介護支援センター連絡協議会
R4.2.28	岩下	オンライン	水戸市主任介護支援専門員研修
R4.3.7	岩下	オンライン	チームオレンジコーディネーターフォローアップ研修
R4.3.9	岩下・長谷川	オンライン	認知症地域支援推進員研修 ヘルプカード報告会
R4.3.11	長谷川	水戸市役所	認知症サポーターステップアップ講座
R4.3.16	岩下	オンライン	認知症疾患医療連携協議会

#### 企画講座、交流会

年月日	名称	場所	内容	参加者
R3.4.17	ニコニコサロン	グリーンハウスみと	認知症カフェ	11名
R3.5.22	ニコニコサロン	グリーンハウスみと	認知症カフェ	9名
R3.6.19	ニコニコサロン	グリーンハウスみと	認知症カフェ	9名
R3.7.17	ニコニコサロン	グリーンハウスみと	認知症カフェ	11名
R3.10.16	ニコニコサロン	グリーンハウスみと	認知症カフェ	12名
R3.11.20	ニコニコサロン	グリーンハウスみと	認知症カフェ	10名
R3.11.25	常澄地区シニア作品展(25日～27日)	稲荷第一市民センター	作品展	121名
R3.12.17	エンディングノート作り講座	稲荷第二市民センター	エンディングノート作り	12名
R3.12.18	ニコニコサロン	グリーンハウスみと	認知症カフェ	8名

#### 年間サービス実施目標

目標	9月評価	3月評価	年間評価
①「認知症カフェ」「本人ミーティング」等、認知症関連のイベント等を定期的 に開催し、認知症の人及びそのご家族等への支援につなげる。(6ヶ月の実施回 数 S:7回以上 A:6回 B:5回 C:4回以下)	C	C	C
②「地域ケア個別(連絡)会議において支援困難事例を多職種で検討し具体 的な支援を導き出す。また定期的に「振り返り」にて事例の検証を行い、地域課 題の把握と共有に役立てる。(6ヶ月の実施回数 S:7回以上 A:6回 B:5回 C:4回以下)	B	A	A
③地域と連携のため各種会議(民協定例会など)や教室(介護予防)等へ積極 的に出向き、権利擁護に関する啓発や高齢者支援センター業務の普及活動 を行う。(6ヶ月の実施回数 S:7回以上 A:6回 B:5回 C:4回以下)	C	B	B

#### 総括

<p>コロナ禍の影響でイベントや会議の自粛により開催中止となり、目標達成度が低い評価となっております。</p> <p>今年度の重点項目であった「人生の終末期における支援の普及啓発」が、イベントの開催により実施する事ができました。また、地域住民より期待されながら昨年度実施できなかったシニア作品展を、3日間にわたり実施する事ができました。高齢者の方々に作品を提供いただき、交流や相談の場として提供する事ができました。</p> <p>もう一つの重点項目である事態把握業務においては、地域住民へ調査の対し協力と理解を得る為、広報を行い調査を継続している状況。今後も調査を継続して参ります。</p> <p>今後、会議等にて、地域課題についての把握に努め、地域との協力を得ながら、課題解決に勤めて参ります。</p>
--



# 令和3年度 事業実績報告書

## 特別養護老人ホームグリーンハウスひたちなか

### 要介護度別入所者状況

要介護 性別	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
男	0	0	8	4	9	21
女	0	0	13	18	15	46
計	0	0	21	22	24	67
平均介護度	4.07					

### 年齢別利用者構成

年齢別 性別	64歳以下	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95歳以上	合計
男	1	3	2	2	3	5	2	3	21
女	0	0	1	2	8	15	7	13	46
計	1	3	3	4	11	20	9	16	67

年齢 性別	最高	最低	平均
男	100	61	82.3
女	106	72	89.6
全体	206	133	85.95

### 市町村別利用者状況

市町村 性別	水戸市	日上市	ひたちなか市	常陸太田	城里町	笠間市	常陸大宮	那珂市	茂木町	いわき市	合計
男	1	0	17	0	1	0	0	0	1	1	21
女	1	1	40	1	0	1	1	1	0	0	46
計	2	1	57	1	1	1	1	1	1	1	67

### 障害高齢者の日常生活自立度(寝たきり度)状況

自立度	障害無	生活自立		準寝たきり		寝たきり				合計
		J1	J2	A1	A2	B1	B2	C1	C2	
男	0	0	0	0	1	7	6	2	5	21
女	0	0	0	1	5	10	16	4	10	46
計	0	0	0	1	6	17	22	6	15	67

### 認知症高齢者の日常生活自立度

自立度	認知症無	I	II a	II b	III a	III b	IV	M	合計
男	0	2	1	1	8	3	6	0	21
女	0	0	0	5	14	11	15	1	46
計	0	2	1	6	22	14	21	1	67

### 余暇活動状況

内容	年間実施回数	年間延参加人数	実施内容
ボーリング大会	1	23	ボーリングを楽しむ

誕生日会	12	216	誕生日を祝う
敬老会	2	103	長寿のお祝いを皆様で行なう
節分	1	76	豆まきをする
ひな祭り	1	77	ひな祭りを祝う
母の日	1	25	母の日の祝い
父の日	1	25	父の日の祝い
暑中見舞い	1	24	暑中見舞いを家族に送る
夏祭り	2	55	食事で夏祭り感のあるものを提供し交流を深める
忘年会	2	53	1.2丁目の交流を図り季節を感じて頂く
美味しい料理を食べて夏を乗りきる	1	20	チャーハン・中華スープ・餃子等を食べる
アイスと一緒に食べて仲を深めよう	1	20	アイスを食べながら交流を深める
食事で気分転換を図る	3	61	ベトナム料理・たこ焼き・ふわーちえ
利用者リクエスト食事会	1	26	お好み焼き・焼きそばを作って提供する
おやつイベント	12	276	手作りおやつを楽しむ ・かき氷・フルーツジュース・ワッフル・お汁粉・パンケーキ
旬の食べ物を味わう	4	83	季節の食材を楽しむ サツマイモ蒸しパン・梅ジュース・梅ゼリー・水ようかん
入所者様と交流を深める	13	324	カフェ・BBQ・お好み焼き・焼き芋・運動会・食事会
季節感を感じる	8	181	鯉のぼり作り・ドライブ・セタ・クリスマス会・正月飾り作り・新年会・バレンタイン

#### ボランティア受入状況

月	延人数	内容	月	延人数	内容
コロナ化の為、受け入れ中止。					

#### 会議・委員会

内容	年間実施回数	年間延参加人数	実施内容
リーダー会議	12	135	事業進行管理確認、介護サービスの運営・維持、各委員会報告、業務改善検討、周知事項及び伝達事項の確認
ユニット会議	12	346	リーダー会議等の周知、伝達事項の確認、ケース検討、職員の知識と技術向上、業務改善検討、感染症対策検討
ナース会議	12	56	リーダー会議等の周知、伝達事項の確認、ケース検討、業務改善検討、感染症対策検討
入所検討委員会	4	12	待機者状況報告と入所順位決定
サービス向上委員会	12	104	施設のサービス向上について
安全対策会議	12	106	事故分析、事故予防策について
食事委員会	12	126	食事についての要望や問題点及び改善策について
安全衛生委員会	13	155	新型コロナ感染症対策について、感染症対策について、労働環境について
褥瘡委員会	12	85	予防と対策の検討について
ユニットケア実行委員会	12	79	個別ケア及び標準化したケアの展開検討について
身体拘束排除委員会	12	134	身体拘束の見直し及び解除検討

#### 研修報告

年月日	参加者	場所	内容
R3.6.11	田口ひろみ	茨城県保健衛生会館	介護報酬改定に伴う研修会
R3.7.7	山崎 徹・清水孝一	オンライン	BCP策定研修会
R3.6.28~29 7.8~7.9	山崎 徹・小林寛之・清水優子	オンライン	介護福祉士実習指導者講習会
R3.7.14	山崎 徹	オンライン	科学的介護情報システム「LIFE」に関する研修会

R3.7.27	清水孝一	オンライン	第1回ADL維持等加算対応バーセルインデックス研修
R3.9.14	川前貴史・永井まみ	オンライン	介護職のためのコーチング研修
R3.9.27	杉山義典・山崎 徹	オンライン	LGBTQ+多様性のある社会の実現にむけて
R3.10.7	飛田怜奈	オンライン	看取りケア
R3.11.8	大橋千秋	オンライン	メンタルヘルス
R3.11.9	永井まみ	オンライン	対人援助職のメンタルヘルス
R3.11.12	藤田弥奈	オンライン	厚労省令和3年度院内感染対策講習会
R3.11.16	清水孝一	オンライン	介護施設の虐待防止～令和3年度運営基準改正に対応するための注意点～
R3.11.18・24・26 R4.1.28	権瓶 崇	オンライン	茨城県高齢者権利擁護推進研修
R3.12.1・8	山崎 徹	オンライン	BCP策定フォローアップ研修
R3.12.16	山崎 徹	オンライン	LIFEと令和3年度の介護報酬改定で変わった褥瘡対応研修会
R4.1.14	杉山義典・山崎 徹	オンライン	ヘビークレーム対応研修
R4.3.2	清水孝一	オンライン	令和3年度福祉サービス苦情解決研修会

### 地域貢献事業

年月日	参加人数	内 容
コロナ禍の為、活動自粛。		

### ひやりはっと・事故の状況

月 項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
ひやりはっと	79	99	112	65	77	81	90	49	50	37	44	53	836
介護事故	6	7	13	9	7	6	7	8	5	6	9	7	90

### 職員勉強会

年月日	人数	内 容	年月日	人数	内 容
R3.4.1～30	50	感染症対策について 身体拘束について	R3.11.24	45	ユニットミニ勉強会「高齢者の睡眠」
R3.5.26	50	ユニットミニ勉強会「アンガー・マネジメント」	R3.12.19	44	ユニットミニ勉強会「寒くなると起こりやすい高齢者のトラブルや事故と対策」
R3.5.1～31	50	嘔吐物処理法	R3.12.1～31	44	ゾーニング検討・ガウンテクニック
R3.6.30	48	ユニットミニ勉強会「口腔ケア」「褥瘡」 「ワクチン接種」	R4.1.26	42	ユニットミニ勉強会「感情労働とは」
R3.7.28	47	ユニットミニ勉強会「リスクマネジメント」 「陰部洗浄の仕方」	R4.1.26	42	ユニットミニ勉強会「高齢者の脱水症状について」
R3.8.1～31	45	権利擁護と身体拘束について	R4.1.1～31	42	ゾーニング検討・ガウンテクニック
R3.9.1～30	45	ゾーニング検討	R4.2.23	42	ユニットミニ勉強会「接遇について」
R3.9.29	45	ユニットミニ勉強会「高齢者がかかりやすい感染症の種類や季節ごとの特徴と」	R4.2.23	42	ユニットミニ勉強会「福祉サービスにおける危機管理」
R3.9.29	45	ユニットミニ勉強会 「ポジショニングについて」	R4.2.1～28	42	ゾーニング検討・ガウンテクニック
R3.10.27	44	感染症について 身体拘束について	R4.3.30	41	ユニット実績報告会
R3.10.1～31	44	ゾーニング検討・ガウンテクニック	R4.3.1～31	42	ゾーニング検討・ガウンテクニック

### 年間サービス実施目標

目 標	9月評価	3月評価	年間評価
利用者の尊厳 (勉強会の理解度 S:98%以上 A:95%以上 B:90%以上 C:90%未満)	S	S	S
「褥瘡予防」「情報共有」「利用者個々の情報更新」「整理整頓」等各町の目標達成 (達成状況 S:95%以上 A:90%以上 B:85%以上 C:85%未満)	A	A	A

入院の削減 (入院者率 S:1%以下 A:2~3%台 B:4~5%台 C:それ以上)	A	A	A
低リスク者の低栄養による中リスク移行を予防する (中リスク移行割合 S:0% A:3%以下 B:5% C:7%以下)	S	A	A

### 短期入所生活介護利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
目標	285	295	285	295	295	285	294	285	294	295	265	294	3,467
平均	9.50	9.52	9.50	9.52	9.52	9.50	9.48	9.50	9.48	9.52	9.46	9.48	9.5
実績	303	290	296	321	281	252	238	265	292	288	237	240	3,303
平均	10.10	9.35	9.87	10.35	9.06	8.40	7.68	8.83	9.42	9.29	8.46	7.74	9.05

### 総括

<p>年間通してコロナウイルス感染症対策を強化し職員の定期抗原検査及び職員個々が自粛生活を心掛けたことで感染者を出すことなく施設運営を継続することができた。前年同様面会や外出行事等を制限したことにより、ご利用者の生活にも少なからず影響が出た。そのため、施設内で出来る行事に力を入れ食のイベントを中心に開催した。面会については、オンライン面会の活用と毎月のお手紙や電話やメールでのやり取りを密にご家族との関係性を保つことができた。</p> <p>入所者の平均介護度は4を超えており依然として重度者の割合が高い状況のなか、入院者数は前年比約70%に留めることができた。しかし、コロナウイルスの陰性確認の検査等により受入れの際に時間を要し、例年以上に空床が発生した。</p> <p>短期入所については、同居家族の体調不良や就労先及び学校等でのコロナウイルス発生状況の影響により利用を延期、またはキャンセルがあり稼働が低下した。</p> <p>会議や研修等について、集合型からオンライン等のICT化に移行したことで時間の有効活用や業務効率化に繋がった。</p>
--

# 令和3年度 事業実績報告書

## 認知症対応型通所介護センターグリーンハウスひたちなか 健康維持通所型グリーンハウスひたちなか

要介護度別利用者状況(認知症対応型通所介護センター)

要介護 性別	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
男	0	0	2	4	0	2	0	8
女	0	0	2	6	2	1	1	12
計	0	0	4	10	2	3	1	20
平均介護度	2.3							

要介護度別利用者状況(健康維持通所型)

介護度 性別	事業対象	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
男	1	0	0	0	0	0	0	0	1
女	3	0	3	0	0	0	0	0	6
計	4	0	3	0	0	0	0	0	7

年齢別利用者構成(認知症対応型通所介護センター)

年齢別 性別	64歳以下	65~69歳	70~74歳	75~79歳	80~84歳	85~89歳	90~94歳	95歳以上	合計
男	0	0	1	3	2	1	1	0	8
女	0	0	1	0	3	4	1	3	12
計	0	0	2	3	5	5	2	3	20

年齢 性別	最高	最低	平均
男	91	74	80.5
女	97	78	87.8
全体	97	74	84.9

要介護度別利用者状況(健康維持通所型)

年齢別 性別	64歳以下	65~69歳	70~74歳	75~79歳	80~84歳	85~89歳	90~94歳	95歳以上	合計
男	0	0	0	0	0	1	0	0	1
女	0	0	0	0	2	3	1	0	6
計	0	0	0	0	2	4	1	0	7

年齢 性別	最高	最低	平均
男	87	87	87.0
女	93	80	86.3
全体	93	80	86.4

## 会議

内 容	年間 実施回数	年間延 参加人数	実施内容
スタッフ会議	7回 5回(書面のみ)	7名 0名	・個別カンファ・業務改善検討・行事検討・感染防止対策
安全対策会議	7回 5回(書面のみ)	7名 0名	・事故防止対策
運営推進会議	2回(書面のみ)	0名	・事業実績、事業計画書報告・家族、民生委員意見報告

## 研修報告

年月日	参加者	場 所	内 容
R3・7	沼田 由美子	オンライン	BCP策定研修会
R3・7	沼田 由美子	オンライン	科学的介護情報システム「LIFE」に関する研修会
R3・7	沼田 由美子	オンライン	第1回ADL維持等加算対応バーセルインデックス研修
R3・10	照沼 真由美	オンライン	認知症介護実践者研修

## ひやりはっと・事故の状況

月 項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
ひやりはっと	15	3	8	20	9	6	1	6	15	5	1	14	103
介護事故	0	1	1	1	2	1	1	1	1	1	0	1	11

## 職員勉強会

年月日	人数	内 容	年月日	人数	内 容
R3・4	7	感染症対策	R3・10	7	感染症及び食中毒予防
R3・5	7	リスクマネジメント	R3・11	7	リスクマネジメント
R3・5	7	感染症対策(現場での実践トレーニング)	R3・11	7	感染症対策(現場での実践トレーニング)
R3・6	7	認知症ケア(ユマニチュード)	R3・12	7	認知症ケア(バリデーション)
R3・6	7	感染症対策(現場での実践トレーニング)	R4・1	7	権利擁護及び尊厳
R3・7	7	権利擁護と身体拘束	R4・2	7	サービス従事者の接遇
R3・8	7	集団レク・活動	R4・3	7	医療に関する知識
R3・9	7	緊急時対応(心肺蘇生法)			

## 年間サービス実施目標

目 標	9月評価	3月評価	年間評価
①感染症に関する研修・勉強会の開催や、最新情報の共有に勤め、感染症予防の意識を高める。 (実施回数 S:6回以上 A:5回以上 B:4回以上 C:3回以下)	A	A	A
②行動・心理状態を家族・関係機関と共有し、周辺症状緩和を図る。家族の立場を尊重し、在宅生活の継続に必要な援助・助言を行なう。 (登録人数 S:80%以上 A:75%以上 B:70%以上 C:69%未満)	A	A	A

## 通所介護利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
目標	280	248	280	291	259	280	280	280	280	259	259	291	3,287
実績	230	209	254	242	221	255	249	242	248	234	216	254	2,854

## 総括

今年度においては家族やケアマネジャーとの連携を密に図り、在宅生活の継続に必要な援助や助言を重点的に行なってきました。急な家族都合での時間の変更や、曜日の変更などにも柔軟に対応し、家族から『グリーンハウスさんで良かった。』との声も頂きました。しかしながら持病の悪化による入院や、加齢による突発的な体調不良での休みがあり、週に4～5回利用されている利用者が多いため目標値を下回り、短期入所生活介護を併用される利用者も多く、予定よりも稼働が減少する要因の一つでもありました。利用者の体調不良の早期発見に努め、家族へのケアにも視点を向け、いつまでも在宅生活が継続できるように支援していきたいと思えます。

活動については、畑で野菜作り→野菜の収穫→野菜を使って料理→みんなで食べる と1年を通して食への取り組みを行ない、利用者の興味・関心を引き出すことにより利用に繋がったケースもありました。行事でも『食』に関する内容を多く取り入れ、職員と一緒に作業を実施することで、『自分にもできるんだ。』と意欲に繋がったと思えます。

今後も認知症対応型の強みを活かし、利用される方個人の認知症状を把握し、より密着した個別対応ができるよう心がけ認知症状の緩和に繋げていきたいと思えます。

# 令和3年度 事業実績報告書

## 訪問看護ステーション グリーンハウスひたちなか

### 要介護度別利用者状況

要介護 性別	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	医療	合計
男	8	11	8	9	7	8	5	14	70
女	16	9	9	13	4	11	6	8	76
計	24	20	17	22	11	19	11	22	146
平均介護度	1.47								

### 年齢別利用者構造

年齢別 性別	64歳以下	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95歳以上	合計
男	3	9	11	12	15	9	5	0	64
女	3	1	7	8	14	17	9	4	63
計	6	10	18	20	29	26	14	4	127

年齢 性別	最高	最低	平均
男	93	58	77.42
女	96	22	80.82
全体	96	22	79.11

### 市町村別利用者状況

市町村 性別	ひたちなか市	水戸市	那珂市	東海村	大洗町	合計
男	57	1	3	3	0	64
女	47	4	3	7	2	63
計	104	5	6	10	2	127

### 会議

内容	年間実施回数	年間延参加人数	実施内容
スタッフカンファレンス	44	466	新規利用者、利用者情報確認 感染対策確認



## 研修報告

年月日	参加者	場所	内容
R3.8.5	坂場紀子	オンライン	茨城県医療提供施設等グループ化事業説明会「実践編」
R3.9.10	磯崎雄一郎 大部聖弥 粉川裕正	オンライン	茨城県老人保健施設協会リハビリテーション研修会 「生活を見据えたリハビリテーションのゴール設定の考え方」
R3.9.17	全スタッフ参加	オンライン	第12回多職種協働のための意見交換会「看取りの実際」 ～医療・介護従事者が知っておきたい看取り期の身体
R3.10.3	堀切理美	オンライン	訪問看護における多職種連携の啓発普及にかかるセミナー「多職種協働による効果や成果について」
R4.1.15	野口由美	茨城県看護協会	訪問看護入門プログラム 2日間
R4.2.19	金田里沙 菊池聖子 野口由美 坂場紀子	オンライン	茨城県訪問看護ステーション協議会看護研究発表会
R3.3.23	粉川裕正 大部はるみ 菊池聖子 野口由美 坂場紀子	オンライン	2022年度訪問看護の診療報酬改定と訪問看護の経営戦略について

## 職員勉強会

年月日	参加人数	内容
R3.10.5	6名	接遇マナーについて
R4.1.19	10名	感染予防のためガウン着脱法について手技の確認を行い統一を図る

## 年間サービス実施目標

目標	9月評価	3月評価	年間評価
①職員及び利用者の感染予防について、定期的に予防行動の確認ができる。	S	S	S
②延べ利用件数に占める医療保険の割合を15%以上に安定することができる。	S	S	S
③安定した利用者の確保に努める。	S	S	S

## 訪問看護利用実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
目標	880	900	900	900	880	900
実績	882	828	960	917	896	904

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
目標	900	900	880	880	900	900	10720
実績	821	905	872	850	864	1004	10703

## 総括

- ・利用者数は年間延べ10603名(+1656名)と増加している。
- ・新型コロナウイルスの感染予防にも取り組みつつ、利用者の順調な確保ができた。
- ・訪問診療を行っている医療機関との連携も図れ、看取りや医療依存度の高い利用者の確保ができた。

# 令和3年度 事業実績報告書

## 大島中学校区地域包括支援センター / 介護予防おおしま

新規総合相談実人数 / (予防プラン直作成数)

項目		月						
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	
地区	大島中学校区	13 (46)	4 (47)	12 (48)	13 (49)	6 (46)	16 (44)	
月		10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
地区	大島中学校区	21 (49)	11 (45)	9 (45)	9 (50)	12 (46)	8 (49)	134 (564)

総合相談者年齢別利用者構成 ( )内は予防プラン直作成対象者

年齢 性別	64歳以下	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95歳以上	合計
男	3 0	3 (2)	9 (1)	12 (4)	15 (2)	10 (6)	1 0	0 (1)	53 (16)
女	2 0	3 (2)	6 (2)	16 (5)	19 (6)	17 (15)	9 (4)	1 (1)	73 (35)
計	5 0	6 (4)	15 (3)	28 (9)	34 (8)	27 (21)	10 (4)	1 (2)	126 (51)

年齢 性別	最高	最低	平均
男	93	61	77
女	102	54	78
全体	102	54	78

相談内容内訳

相談内容		月						
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	
総合相談支援	介護認定	3	0	4	3	1	4	
	介護保険サービス	5	3	2	0	2	1	
	介護予防・生活	2	0	2	4	3	1	
	介護保険外サー	1	0	1	0	2	0	
	一般介護予防	0	0	1	0	0	0	
	成年後見制度	0	0	1	0	0	0	
	高齢者虐待	1	0	0	0	1	0	
総合相談支援	消費者被害	0	0	0	0	0	0	
	施設の相談	2	0	1	3	2	0	
	認知症・精神にか	4	3	3	2	2	6	
	保健・医療に關す	1	1	1	2	2	0	
	生活問題に關す	0	2	1	0	1	2	
	安否に關する相談	1	0	0	1	0	1	
	ケアマネ相談	0	0	1	0	0	0	
地域ケア個別会議	0	0	0	0	0	0		
合計	20	9	18	15	16	15		

		10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
総合相談支援	介護認定	7	4	1	2	2	6	37
	介護保険サービス	10	2	4	5	4	2	40
	介護予防・生活	3	2	3	2	1	4	27
	介護保険外サービス	1	0	1	0	2	0	8
	一般介護予防	0	0	0	1	0	0	2
	成年後見制度	0	0	0	0	0	0	1
	高齢者虐待	0	0	0	0	0	0	2
	消費者被害	0	0	0	0	0	0	0
	施設の相談	1	3	1	0	2	2	17
	認知症・精神にか	3	2	1	6	2	0	34
	保健・医療に関する	1	1	0	0	1	1	11
	生活問題に関する	1	0	3	0	0	0	10
安否に関する相談	0	0	0	0	0	2	5	
ケアマネ相談	0	0	2	2	0	0	5	
地域ケア個別会議	0	0	0	0	0	0	0	
合計		27	14	16	18	14	17	199

会議等参加状況

年月日	会議名	参加者	内容
R3.4.14	認知症地域支援推進員会議	山本 義則	連絡事項、活動報告、協議事項
R3.4.17	センター長会議	山本 義則	連絡事項、協議事項
R3.4.16	主任ケアマネ会議	山本 義則	連絡事項、協議事項
R3.5.13	認知症地域支援推進員会議	山本 義則	連絡事項、活動報告、協議事項
R3.5.21	主任ケアマネ会議	山本 義則	連絡事項、協議事項
R3.6.16	認知症地域支援推進員会議	山本 義則	連絡事項、活動報告、協議事項
R3.6.18	センター長会議	山本 義則	連絡事項、協議事項
R3.6.18	主任ケアマネ会議	山本 義則	連絡事項、協議事項
R3.6.24	第1回連携推進部会	山本 義則	令和2年度実績報告、令和3年度計画、電子@連絡帳
R3.6.25	水戸保健医療圏認知症医療連携協議会	平松 香代子・池田 麻美	認知症疾患医療センター活動報告、情報交換会
R3.7.20	第1回ひたちなか市包括ケア会議	山本 義則 平松 香代子 池田 麻美	令和3年度介護報酬改定について、連絡事項
R3.7.20	社会福祉士会議	池田 麻美	今後の会議内容検討
R3.7.14	認知症地域支援推進員会議	山本 義則	連絡事項、活動報告、協議事項
R3.7.16	センター長会議	山本 義則	連絡事項、協議事項
R3.7.16	主任ケアマネ会議	山本 義則	連絡事項、協議事項
R3.8.20	センター長会議	山本 義則	連絡事項、協議事項
R3.8.20	主任ケアマネ会議	山本 義則	連絡事項、協議事項
R3.8.25	認知症地域支援推進員会議	山本 義則	連絡事項、活動報告、協議事項
R3.9.24	認知症地域支援推進員会議	山本 義則	連絡事項、活動報告、協議事項
R3.9.17	認知症地域支援推進員会議	山本 義則	連絡事項、活動報告、協議事項
R3.9.17	主任ケアマネ会議	山本 義則	連絡事項、協議事項
R3.10.15	センター長会議	山本 義則	連絡事項、協議事項
R3.10.15	主任ケアマネ会議	山本 義則	介護支援専門員研修会について
R3.10.18	第2回ひたちなか市包括ケア会議	山本 義則・平松 香代子	災害時の対策について、連絡事項
R3.10.19	社会福祉士会議	池田 麻美	8050問題を抱えたケース報告
R3.10.21	第2回連携推進部会	山本 義則	意見交換会の結果、電子連絡帳運用状況
R3.11.15	認知症地域支援推進員会議	山本 義則	連絡事項、活動報告、協議事項

R3.12.2	水戸保健医療圏認知症医療連携協議会	山本 義則 平松 香代子 池田 麻美	「緊急性とは何か?」、情報交換会
R3.12.17	センター長会議	山本 義則	連絡事項、協議事項
R3.12.17	主任ケアマネ会議	山本 義則	連絡事項、協議事項
R3.12.20	ひたちなか市第3地区民児協全体協議会	山本 義則 平松 香代子 池田 麻美	民生委員との情報交換会
R3.12.22	認知症地域支援推進員会議	山本 義則	連絡事項、活動報告、協議事項
R4.1.18	認知症地域支援推進員会議	山本 義則	連絡事項、活動報告、協議事項
R4.1.26	第1回ひたちなか市地域包括支援センター運営部会	山本 義則	令和2年事業実績報告、令和3年度運営状況報告
R4.1.28	センター長会議	山本 義則	連絡事項、協議事項
R4.1.28	主任ケアマネ会議	山本 義則	連絡事項、協議事項
R4.2.15	社会福祉士会議	池田 麻美	首長申し立てによる成年後見制度活用へのケース報告
R4.2.16	認知症地域支援推進員会議	山本 義則	連絡事項、活動報告、協議事項
R4.2.17	第3回連携推進部会	山本 義則	意見交換会について、電子連絡帳利用状況、次年度計画(案)
R4.3.11	小地域ケア会議	山本 義則 平松 香代子 池田 麻美	多職種協同による事例検討会
R4.3.14	第1回地域ケア会議	山本 義則	小地域ケア会議の報告・検討
R4.3.16	認知症地域支援推進員会議	山本 義則	連絡事項、活動報告、協議事項
R4.3.16	認知症疾患医療センター連携協議会	山本 義則 平松 香代子 池田 麻美	実績報告、若年性認知症、アルコール依存関連、意見交換
R4.3.18	センター長会議	山本 義則	連絡事項、協議事項
R4.3.18	主任ケアマネ会議	山本 義則	連絡事項、協議事項

#### 研修報告

年月日	参加者	場所	内容
R3.6.1	山本 義則	オンライン	若年性認知症事例検討会
R3.6.2	山本 義則	オンライン	「生活支援体制整備事業」全体研修会
R3.7.1	池田 麻美	茨城県市町村会館	認知症介護アドバイザー養成研修
R3.7.15	山本 義則 平松 香代子 池田 麻美	オンライン	「認知症の理解を深める」
R3.7.24	山本 義則	オンライン	レビー小体型認知症サポートネットワーク茨城研修会
R3.9.8	池田 麻美	オンライン	「介護予防と認知症ケア ～コロナ対策とともに～」
R3.9.16	山本 義則	オンライン	「看取りの実際」～医療・介護従事者が知っておきたい看取り期の身体変化とその対応～
R3.10.12	池田 麻美	オンライン	「事例を通して妄想を考える」
R3.11.6	山本 義則	オンライン	適切なケアマネジメント手法実践セミナー
R3.11.15	平松 香代子・池田 麻美	オンライン	「在宅介護と衛生対策」
R3.11.15	平松 香代子・池田 麻美	オンライン	「認知症：課題解決から本人支援へ」
R3.11.24	山本 義則 平松 香代子 池田 麻美	オンライン	「高齢者のうつ症状について」
R4.1.24	平松 香代子・池田 麻美	オンライン	「地域課題解決に向けた事例検討会の活用の推進」事例検討
R4.2.2	山本 義則・池田 麻美	オンライン	介護事業者のための業務継続計画(BCP)作成セミナー
R4.2.10	山本 義則	オンライン	コロナ禍の認知症対応とメンタルヘルス
R4.2.14	山本 義則 平松 香代子 池田 麻美	オンライン	若年性認知症の人とご家族への支援
R4.2.18	山本 義則 平松 香代子 池田 麻美	オンライン	障害者総合支援法に基づくサービスの給付・支援について
R4.2.25	平松 香代子・池田 麻美	オンライン	「高齢者・障害者のための身元保証と生活支援のあり方」
R4.3.18	池田 麻美	オンライン	「後見事務における意思決定支援」
R4.3.19	平松 香代子・池田 麻美	オンライン	令和3年度地域包括ケア担当職員セミナー
R4.3.23	山本 義則 平松 香代子 栗崎 麻美	オンライン	若年性認知症支援セミナー

企画講座、交流会

年月日	名称	場所	参加者	内容
R3.5.20	外野ウエルカフェ	ウエルシア外野店	平松 香代子	※コロナステージ3以上対応:チラシ、脳トレプリント配布
R3.6.3	おおしまピクニック	外野第2公園	山本 義則 平松 香代子 池田 麻美	ネイチャーゲーム、他者との交流、ミニ講座
R3.6.17	外野ウエルカフェ	ウエルシア外野店	平松 香代子	軽体操、ミニ講座
R3.7.15	外野ウエルカフェ	ウエルシア外野店	平松 香代子 池田 麻美	軽体操、ミニ講座
R3.8.4	認知症サポーター養成講座	ウエルシア六ツ野店	山本 義則	店舗スタッフ養成講座
R3.8.19	外野ウエルカフェ	ウエルシア外野店	平松 香代子	※コロナステージ3以上対応:チラシ、脳トレプリント配布
R3.9.16	外野ウエルカフェ	ウエルシア外野店	平松 香代子 池田 麻美	※コロナステージ3以上対応:チラシ、脳トレプリント配布
R3.9.20	みんなの健康ハッピー講座	ひたちなか市 市民交流センター	山本 義則 平松 香代子	健康講座開催
R3.10.14	おおしまピクニック	外野第2公園	山本 義則 平松 香代子 池田 麻美	ネイチャーゲーム、他者との交流、ミニ講座
R3.10.21	外野ウエルカフェ	ウエルシア外野店	平松 香代子 池田 麻美	軽体操、ミニ講座
R3.11.11	おおしまピクニック	外野第2公園	山本 義則 平松 香代子 池田 麻美	ネイチャーゲーム 他者との交流 ミニ講座
R3.11.15	いきいきヘルス体操講話	ひたちなか市 市民交流センター	山本 義則	健康講座開催
R3.11.18	外野ウエルカフェ	ウエルシア外野店	平松 香代子 池田 麻美	軽体操、ミニ講座
R3.12.16	外野ウエルカフェ	ウエルシア外野店	平松 香代子 池田 麻美	軽体操、ミニ講座
R4.1.20	外野ウエルカフェ	ウエルシア外野店	池田 麻美	軽体操、ミニ講座
R4.2.17	外野ウエルカフェ	ウエルシア外野店	平松 香代子 池田 麻美	※コロナステージ3以上対応:チラシ、脳トレプリント配布
R4.3.17	外野ウエルカフェ	ウエルシア外野店	平松 香代子 池田 麻美	※コロナステージ3以上対応:チラシ、脳トレプリント配布

年間サービス実施目標

目標	9月評価	3月評価	年間評価
①管轄地区の状況を把握し、支援対象者の状況を確認すると共に、社会資源の把握に努め、特にインフォーマルな資源の発掘を行う。	A	A	A
②「地域ケア個別(連絡)会議において支援困難事例を多職種で検討し具体的な支援を導き出す。また定期的に「振り返り」にて事例の検証を行い、地域課題の把握と共有に役立	C	C	C
③地域との連携のため各種会議(民協連絡会など)や教室(介護予防)等へ積極的に出向き、権利擁護に関する啓発や高齢者支援センター業務の普及活動を行う。	B	B	B

総括

65歳以上の方を対象とした相談窓口として開設2年目を迎えました。総合相談支援業務としては、介護保険申請から支援困難ケースまで多種多様なケースに対し各関係機関と連携を取りながら迅速に対応いたしました。また、権利擁護業務としては、成年後見制度の利用が必要な方に対する申し立て支援を行いました。

包括的・継続的ケアマネジメント支援業務としては、地域の介護支援専門員に対する支援として随時相談や同行訪問等を行うとともに、個別支援会議にて個別の課題解決にも努めました。また、在宅医療・介護連携推進室との共催で、介護支援専門員等を対象とした研修会も開催し、介護支援専門員の資質向上にも努めました。

介護予防サービス計画については、地域の介護支援専門員不足を補う為、近隣市町村の介護支援専門員の協力も得ながら進めてまいりました。一人一人の課題に向き合い、その人の自立支援につながることに心がけながら、指定介護予防支援及び介護予防ケアマネジメントの各介護予防サービスを計画を作成し、要支援者及び事業対象者の介護予防に努めました。

認知症地域支援推進員とは適宜連携し、個別ケースの課題解決を各関係機関と連携しながら進める一方で、認知症サポーター養成講座による地域の人材育成にも努めました。また、感染予防策を取りながらの認知症カフェの開催や、屋外イベントとして「おしまピクニック」を開催するなど、コロナ禍においても認知症の方及びご家族の交流の場を確保いたしました。加えて、宅配弁当の業者も地域資源と捉え、「地域見守りにかかわる通報等ガイドライン」を作成し、地域の見守り機能の強化にもつなげました。

# 令和3年度 事業実績報告書 ケアハウスかさま

## 入所者関係

### 要介護度別入所者状況

介護度 性別	自立	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
男	9	4	1	6	2	1	0	0	23
女	7	4	3	8	4	1	0	0	27
計	16	8	4	14	6	2	0	0	50
介護認定率	70%								

### 年齢別利用者構成

年齢 性別	64歳以下	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95歳以上	合計
男	0	1	3	8	1	9	0	1	23
女	0	1	1	1	9	4	9	2	27
計	0	2	4	9	10	13	9	3	50

	最高	最低	平均
男	97	69	81.7
女	97	67	85.9
全体	97	67	83.9

### 都道府県別利用者状況

県 性別	茨城県	東京都	千葉県	埼玉県	神奈川県	栃木県	その他	合計
男	14	4	1	0	1	1	2	23
女	19	3	1	1	0	1	2	27
計	33	7	2	1	1	2	4	50

### 余暇活動状況

内容	年間実施回数	年間延参加人数	実施内容
シルバーリハビリ体操	13	83	いきいき健康体操
3B体操	7	46	ボール・ベル・ベルダー体操
ドライブウォーキング	19	98	公園等に出かけウォーキングを楽しむ
はじめてのヨガ	7	32	はじめての方でもヨガを楽しみながら健康づくり
DVDリハビリ体操	24	216	DVD映像に合わせたリハビリ体操



ボランティア受入状況

月	延人数	内容	月	延人数	内容
4	16	シルバーリハビリ体操	10	7	シルバーリハビリ体操
5	13	シルバーリハビリ体操	11	15	シルバーリハビリ体操
6	11	シルバーリハビリ体操	12	11	シルバーリハビリ体操
7	10	シルバーリハビリ体操	1		コロナ禍における受入自粛
8		コロナ禍における受入自粛	2		コロナ禍における受入自粛
9		コロナ禍における受入自粛	3		コロナ禍における受入自粛

会議・委員会

会議名	年間実施回数	年間延参加人数	実施内容
職員会議	12	74	入所者について・行事確認、コロナ対策
厨房会議	6	20	メニュー・調理法の確認、その他の確認
懇談会(職員・入所者)	12	129	行事予定・施設内生活について、感染症予防・対策について、食事メニューについて

研修報告

年月日	参加者	場所	内容
R3.4.1～ R4.3.31	大島 律子	オンライン	社会福祉主事通信課程

地域貢献事業

年月日	数	内容	年月日	数	内容
R3.4.22	40食	子ども食堂	R3.10.28	50食	子ども食堂
R3.5.16	11人	オレンジカフェ	R3.11.21	15人	オレンジカフェ
R3.5.27	40食	子ども食堂	R3.11.25	45食	子ども食堂
R3.6.24	45食	子ども食堂	R3.12.23	40食	子ども食堂
R3.7.18	10人	オレンジカフェ	R4.1.16	17人	オレンジカフェ
R3.7.22	45食	子ども食堂	R4.3.20	15人	オレンジカフェ
R3.9.26	13人	オレンジカフェ			

職員勉強会

年月日	人数	内容	年月日	人数	内容
R3.4.16	7	感染症対策について	R3.10.15	5	コロナウイルス感染症とインフルエンザについて
R3.5.21	7	コロナ禍での食中毒について	R3.11.19	6	ノロウイルスとコロナウイルスについて/訓練
R3.6.18	6	コロナ差別と権利擁護について	R3.12.17	6	新型コロナウイルス感染症発生時の対応及び気道異物除去について
R3.7.16	6	コロナ禍における高齢者の脱水と熱中症対策について	R4.1.21	6	高齢者の交通事故予防について

R3.8.20	6	リスクマネジメントについて	R4.2.18	6	認知症について
R3.9.18	6	コロナ禍における災害避難時の対応について	R4.3.18	7	高齢者の転倒事故予防について

#### 年間サービス実施目標

目標	9月評価	3月評価	年間評価
感染対策感染症予防に関する研修・勉強の開催や、最新情報の共有に努め、感染予防の意識を高める。	S	S	S
日常生活の維持向上毎日のラジオ体操を除いた各種教室・イベントの実施回数	B	A	B

#### ケアハウス利用状況(定員50名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
目標	1,500	1,550	1,500	1,550	1,550	1,500	
実績	1,530	1,581	1,530	1,550	1,581	1,530	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
目標	1,550	1,500	1,550	1,550	1,400	1,550	18,250
実績	1,581	1,530	1,581	1,550	1,400	1,581	18,525

#### 総括

##### (施設)

入居者については、介護認定率や平均年齢は昨年度とほぼ同様。体調を崩し救急対応をすることが多くありましたが、迅速な対応により、大事に至らず施設での生活を継続することができています。感染症対策については、施設内でも普段からマスク・手洗いの徹底を行いました。また、コロナワクチン接種については、早期に接種できるよう家族と連携し、今年度中に3回のワクチン接種を終了しています。結果、一人も感染者を出すことなく過ごすことができました。活動については、今年度も新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、ボランティアの受け入れや施設行事など中止せざるを得ない時期もありましたが、毎日行っているラジオ体操が習慣化し、多くの入居者が参加するようになりました。それにより施設内でのウォーキングや器具を利用して運動をする入居者が増えました。また、密にならない場所での野外行事を多く取り入れ、日常の維持向上に繋げることができました。

##### (地域)

安心して過ごせるコミュニティサロン型(子ども食堂)グリーン食堂は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ドライブスルー方式でのお弁当提供として開催しました。

# 令和3年度 事業実績報告書 訪問介護 介護センターかさま

要介護度別利用者状況

要介護 性別	事業対象 者	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
男	2	5	3	6	2	5	0	0	23
女	0	5	7	11	10	5	4	0	42
計	2	10	10	17	12	10	4	0	65
平均介護度	1.8								

年齢別利用者構成

年齢別 性別	64歳以下	65～69 歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95歳以上	合計
男	2	3	5	4	3	4	2	0	23
女	1	1	1	2	13	10	10	4	42
計	3	4	6	6	16	14	12	4	65

訪問介護利用者状況

月	4	5	6	7	8	9	
身体介護	451	345	319	368	378	358	
生活援助	52	61	80	81	73	82	
通院等乗降介助	-	-	2	6	2	2	
総合事業	163	163	174	184	164	164	
障害者	13	13	27	32	30	24	
移送サービス	28	24	23	31	19	25	
自費サービス	19	19	27	35	28	34	
計	726	625	652	737	694	689	
月	10	11	12	1	2	3	計(件)
身体介護	379	342	331	322	317	332	4242
生活援助	88	98	89	74	63	73	914
通院等乗降介助	6	4	7	2	4	11	46
総合事業	174	171	156	140	130	142	1925
障害者	21	15	19	16	17	21	248
移送サービス	17	17	15	14	13	24	250
自費サービス	31	23	33	16	15	20	300
計	716	670	650	584	559	623	7925

年齢構成

年齢 性別	最高	最低	平均
男	91	52	76.7
女	100	55	85.5
全体	100	52	82.4

地域別登録者

地域	施設 (ケアハウス)	笠間地区	友部地区	岩間地区	城里町	合計
計	23	29	9	2	2	65

## 研修報告

年月日	参加者	場所	内容
R3.12.10	畑岡	ヒロサワシティ会館	管理者研修
R4.2.21～ 3.11	大森	オンライン	ICTの導入・普及促進セミナー
R4.2.11	大森	オンライン	障害福祉サービスe-learning研修
R4.3.4～23	大森 飯島(厚) 森田 柳町 篠田 飯島(香)	オンライン	～知っておきたい！家族のための介護のきほん～

## ひやりはっと・事故の状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月		
ひやりはっと	0	0	0	0	0	0		
介護事故	1	0	0	0	0	0		
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
ひやりはっと	0	0	0	0	0	0	0	0
介護事故	1	0	0	0	0	0	0	2

## 職員会議・職員勉強会

年月日	人数	内容	年月日	人数	内容
R3.4.23	7	ケース検討 事業計画書、介護報酬改定	R3.10.29	6	ケース検討 自立支援
R3.5.28	7	ケース検討 運転、通院等乗降介助	R3.11.26	6	ケース検討 感染症対策(シミュレーション)
R3.6.25	7	ケース検討 ICTの活用、電磁的記録による対応	R3.12.24	7	ケース検討 リスクマネジメント
R3.7.30	7	ケース検討 緊急時の対応	R4.1.28	6	ケース検討 認知症対応力向上
R3.8.27	6	ケース検討 高齢者の尊厳・虐待防止	R4.2.25	5	ケース検討 看取り期の対応
R3.9.24	6	ケース検討 災害対策(シミュレーション)	R4.3.25	5	ケース検討 接遇

## 年間サービス実施目標

目標	9月評価	3月評価	年間評価
① 感染症対策 感染症に関する研修・勉強の開催や、最新情報の共有に努め、感染予防の意識を高める。 (実施回数 S:6回以上 A:5回 B:4回 C3回以下)	S	S	S
② 健康状態の確認、異常の早期発見 全ての支援で、毎回バイタル・体調チェックを行い、異常時には関係者に連絡する。 (実施回数 S:6回以上 A:5回 B:4回 C3回以下)	S	S	S

## 総括

<p>令和3年度 介護保険実績 年間7,127件(目標比84.4%) 身体介護率 年間平均57.2%</p> <p>障害福祉サービス 居宅介護実績 年間248件(目標比175.9%)</p> <p>障害福祉サービス(居宅介護)は新規利用による支援追加により目標を大いに上回ることができたが、介護保険(訪問介護)は、年度内2人の退職による職員減員や人事異動により、利用者受入体制が安定せず、年間通して実人数、延べ件数、共に前年度比減となった。</p> <p>今年度も身体介護中心のサービス提供を念頭に、年間通して57.2%の身体介護率を維持することができた。</p> <p>コロナ禍で感染対策を徹底したうえでの安心・安全なサービス提供の継続、ICT導入による記録業務効率化を図り、ケア提供にかかる時間を増加させ有償運送サービスや通院等乗降介助の対応ができ、実効性のある業務改善に取り組むことができた。</p> <p>次年度は事業所間のICT化(データ交換・情報連携機能)による業務効率化を図り、ケア提供にかかる時間を増加させ、効率の良い訪問、迅速な対応ができるよう効率化を図っていきたい。</p>
---

# 令和3年度 事業実績報告書 認知症高齢者グループホームかさま

## 要介護度別入所者状況

要介護 性別	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
男	0	0	0	0	0	0
女	1	2	2	3	1	9
計	1	2	2	3	1	9
平均介護度	3.1					

## 年齢別利用者構成

年齢別 性別	64歳 以下	65～69 歳	70～74 歳	75～79 歳	80～84 歳	85～89 歳	90～94 歳	95歳 以上	合計
男	0	0	0	0	0	0	0	0	0
女	0	0	0	0	1	1	6	1	9
計	0	0	0	0	1	1	6	1	9

年齢 性別	最高	最低	平均
男	0	0	0
女	97	82	90.5
全体	97	82	90.5

## 障害高齢者の日常生活自立度(寝たきり度)状況

自立度	障害無	生活自立		準寝たきり		寝たきり				合計
		J1	J2	A1	A2	B1	B2	C1	C2	
男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
女	0	1	1	4	0	1	1	1	0	9
計	0	1	1	4	0	1	1	1	0	9

## 認知症高齢者の日常生活自立度

自立度	認知症無	I	II a	II b	III a	III b	IV	M	合計
男	0	0	0	0	0	0	0	0	0
女	0	0	1	0	5	1	2	0	9
計	0	0	1	0	5	1	2	0	9

## 会議

内容	年間 実施回数	年間延 参加人数	実施内容
スタッフ会議	12	60	行事検討、安全対策、個別ケア、連絡事項

サービス担当者会議	12	60	個別カンファレンス、サービス計画の見直し評価、検討
運営推進会議	6(3書面)	25	入所者状況報告、運営状況、ひやり・事故報告
身体拘束適正化委員会	3	25	身体拘束指針、マニュアル、拘束適正化等
相談員会議	2	—	事業計画立案・業務継続計画等

### 研修報告

年月日	参加者	場 所	内 容
R3.11.17	丸井	法人本部	法人2年次研修「認知症の理解と虐待防止の重要性」
R4.3.17	塚本	オンライン	法人3年次研修「摂食嚥下障害の基礎知識と臨床技術」

### ひやりはっつ・事故の状況

月 項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
ひやりはっつ	2	2	3	0	4	1	1	0	5	2	3	1	24
介護事故	3	2	2	1	0	0	0	0	1	1	2	1	13

### 職員勉強会

年月日	人数	内 容	年月日	人数	内 容
R3.4.24	6	身体拘束・虐待防止について① 感染症対策	令和3年10月	5	医療面について(感染症・コロナ) 感染症対策(業務継続)
R3.5.27	5	リスクマネジメントについて① 感染症対策	R3.11.22	5	身体拘束・虐待防止② 感染症対策
R3.6.24	6	医療面について(熱中症) 感染症対策	R3.12.24	5	高齢者の尊厳について② 感染症対策
R3.7.26	5	緊急時の対応について(救急法) 感染症対策	R4.1.19	5	リスクマネジメントについて② 感染症対策
R3.8.25	4	高齢者の尊厳について① 感染症対策	R4.2.17	5	医療面について(食中毒) 感染症対策
R3.9.22	5	認知症のケアについて 感染症対策	R4.3.22	6	高齢者の尊厳について③ 感染症対策

### 年間サービス実施目標

目 標	9月評価	3月評価	年間評価
① 感染症に関する研修・勉強会の開催や、最新情報の共有に努め感染予防の意識を高める。 ( 評価方法 実施回数 S:6回以上 A:5回 B:4回 C:3回以下 )	S	C	B
② 「利用者の尊厳ある生活」を大切に自立支援に努めたイベントを計画し感染症予防を配慮した季節感を取り入れたサービス提供を行う。 ( 評価方法 実施回数 S:6回以上 A:5回 B:4回 C:4回以下 )	A	S	A

### 認知症高齢者グループホーム利用実績(定員9名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
目標	98	98	98	98	98	98	98	98	98	98	98	98	98
実績	94	94	97	97	100	88	90	94	100	100	100	100	96

## 総括

今年度は、「感染症対策」を重点に感染症予防に取り組んで参りました。施設内では情報を正確に入手することで、感染を予防することができ易くなりました。ワクチンも協力病院のおかげで早期に接種する事ができました。また、利用者様と家族様のご協力のもと面会自粛についてもご理解を頂きありがとうございました。

利用者様の体調は、日ごろからかわる職員が変化に注意すると共に、定期的に主治医の受診を受け健康管理をしております。毎日の食事はもちろん、行事においても季節が感じられるように工夫しております。外出は、感染予防に努め混雑しないように屋外を中心に実施しています。笠間稲荷や佐白山に飯田ダムと観光の名所が沢山あり、お土産のお饅頭で、美味しいお茶の時間を過ごされております。散歩や体操を行い、掃除に洗濯たたみ、ゲームにレクと活動を通して皆様に、涙や笑いを提供してより良いサービスの実現に向けて取り組んで参ります。

# 令和3年度 事業実績報告書 居宅介護支援センターかさまグリーンハウス

## 居宅介護支援、介護予防支援利用者

月 地区	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	延べ
笠間市	105	104	103	104	106	107	105	107	109	110	113	109	1282
水戸市	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
日立市	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
筑西市	1	1	1	1	1	1	1	2	2	2	2	2	17
桜川市	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
城里町	2	2	2	2	3	3	3	3	3	3	3	3	32
栃木県	18	17	16	16	16	16	14	13	12	12	12	12	174
東京都	5	5	5	5	6	6	5	4	4	4	4	4	57
その他県外	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	48
合計	138	135	133	134	138	139	134	135	136	137	140	136	1635

## 要介護度別利用者状況

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
男	0	0	13	12	12	2	1
女	3	0	36	27	17	9	4
計	3	0	49	39	29	11	5
平均介護度	2.1						

## 年齢別利用者構成

	64歳以下	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～90歳	90歳以上
男	1	5	5	10	9	3	7
女	2	2	7	5	17	15	45
計	3	7	12	15	26	18	52

	最高	最低	平均
男	97	66	79
女	104	61	87
全体	104	63	84

## 会議等参加状況

年月日	参加者	場所	内容
R3.4.15	和田 智恵・斉藤 敦子	地域医療センターかさま	令和3年度4月かさま ケアマネ会運営委員会
R3.5.13	和田 智恵・斉藤 敦子	オンライン	令和3年度5月かさま ケアマネ会運営委員会
R3.6.22	斉藤 敦子	地域医療センターかさま	包括ケア会議



R3.6.24	和田 智恵・斉藤 敦子	地域交流センターともべ	令和3年度6月かさま ケアマネ会運営委員会
R3.7.20	和田 智恵・斉藤 敦子	地域医療センターかさま	令和3年度7月かさま ケアマネ会運営委員会
R3.7.28	和田 智恵	ケアハウスかさま	GHかさま・通所かさま 運営推進会議
R3.8.24	和田 智恵・斉藤 敦子	オンライン	令和3年度8月かさま ケアマネ会運営委員会
R3.9.14	和田 智恵・斉藤 敦子	オンライン	令和3年度9月かさま ケアマネ会運営委員会
R3.9.22	和田 智恵	笠間市役所	ケアプラン点検委員会
R3.10.12	和田 智恵・斉藤 敦子	地域医療センターかさま	令和3年度10月かさまケアマネ会運営委員会
R3.11.9	和田 智恵・斉藤 敦子	地域医療センターかさま	令和3年度11月かさまケアマネ会運営委員会
R3.12.8	和田 智恵・斉藤 敦子	地域医療センターかさま	令和3年度12月かさまケアマネ会運営委員会
R3.12.15	和田 智恵	笠間市役所	ケアプラン点検委員会
R4.1.20	和田 智恵・斉藤 敦子	オンライン	令和3年度1月かさま ケアマネ会運営委員会
R4.2.8	和田 智恵・斉藤 敦子	オンライン	令和3年度2月かさまケアマネ会運営委員会
R4.2.16	和田 智恵・寺崎 裕子	笠間市役所	ケアプラン点検委員会
R4.3.8	斉藤 敦子	オンライン	令和3年度3月かさまケアマネ会運営委員会
R4.3.16	和田 智恵	笠間市役所	ケアプラン点検委員会

## 研修報告

年月日	参加者	場所	内容
R3.5.10	寺崎 裕子	オンライン	認定調査員研修
R3.6.25	和田 智恵 菊池めぐみ 松岡 淳子 寺崎 裕子 斉藤 敦子	地域交流センターともべ & オンライン	令和3年度かさまケアマネ会総会 研修会「ケアマネジャーが行う心の こもった遺品整理について」
R3.7.17	和田 智恵 寺崎 裕子	那珂市ふれあいセン ターごだい	茨城県介護支援専門員協会・那珂、太田地 区研修会「死にゆく人の心に寄り添う～ スピリ チュアルケア～」
R3.8.3	和田 智恵 菊池めぐみ 松岡 淳子 寺崎 裕子	オンライン	他法人居宅介護支援事業者共同研修会 困難事例の検討について (シルバービレッジ、穴戸苑共同主催)
R3.8.26	和田 智恵 松岡 淳子 寺崎 裕子 斉藤 敦子	オンライン	介護支援専門員研修会 地域の一人ガラス高齢者や高齢者のみ世帯 を支える ～家族とより良い関係を築くために～
R3.9.24	和田 智恵 松岡 淳子 寺崎 裕子 斉藤 敦子	オンライン	かさまケアマネ会9月研修会 「コロナ禍における支援について」 グループワーク形式
R3.10.16	和田 智恵	交流センターふじ (常陸太田市)	茨城県介護支援専門員協会・那珂、太田地 区研修会 「最後の対話をするために～妙 優の13の戒め～」
R3.11.6	松岡 淳子 寺崎 裕子 斉藤 敦子	オンライン	「適切なケアマネジメント手法」実践セミナー
R3.11.18	和田 智恵 菊池めぐみ 松岡 淳子 斉藤 敦子	オンライン	かさまケアマネ会11月研修会 「人生の最終段階における医療・ケアの決定 プロセスに関するガイドライン」について
R3.11.22	和田 智恵 松岡 淳子 寺崎 裕子 斉藤 敦子	オンライン	他法人居宅介護支援事業者共同研修会 困難事例の検討について (社協、一期一笑、陽だまり館共同主催)
R3.12.22	和田 智恵	オンライン	自立支援を目指したケアプラン点検の方法について

R4.2.4	和田 智恵 松岡 淳子 寺崎 裕子	オンライン	かさまケアマネ会2月研修会 「だまされるものか！高齢者を狙う消費者トラブルを知ろう」について 「最近の詐欺被害」について
R4.2.21	和田 智恵 菊池めぐみ 松岡 淳子 寺崎 裕子 齊藤 敦子	オンライン	令和3年度 笠間市介護支援専門員研修会 「認知症高齢者のケアマネジメントについて」
R4.2.24	寺崎 裕子	オンライン	[話術]～利用者・家族・多職種との伝わるための会話術
R4.3.24	和田 智恵 菊池めぐみ 松岡 淳子 寺崎 裕子 齊藤 敦子	オンライン	他法人居宅介護支援事業者共同研修会 多様な支援が必要とされる場合の対応について（すみれ、かさまグリーンハウス共同主催）

サービス提供会議(毎月4回開催)・勉強会

年月日	内容
R3.4	連絡事項・利用者に関する情報・サービス提供に当たっての留意点・ケアプランの検証確認 勉強会 「介護サービス計画書の様式及び課題分析標準項目の提示について」の一部改正について
R3.5	連絡事項・利用者に関する情報・サービス提供に当たっての留意点・ケアプランの検証確認 勉強会 居宅介護支援経過記録の記載について
R3.6	連絡事項・利用者に関する情報・サービス提供に当たっての留意点・ケアプランの検証確認 勉強会 高齢者虐待について
R3.7	連絡事項・利用者に関する情報・サービス提供に当たっての留意点・ケアプランの検証確認 勉強会 パーキンソン病とパーキンソン症候群について
R3.8	連絡事項・利用者に関する情報・サービス提供に当たっての留意点・ケアプランの検証確認 勉強会 適正なプランの作成について
R3.9	連絡事項・利用者に関する情報・サービス提供に当たっての留意点・ケアプランの検証確認 勉強会 対人援助技術について
R3.10	連絡事項・利用者に関する情報・サービス提供に当たっての留意点・ケアプランの検証確認 勉強会 みなし2号保険者について
R3.11	連絡事項・利用者に関する情報・サービス提供に当たっての留意点・ケアプランの検証確認 勉強会 サービス付き高齢者住宅などのケアプランについて
R3.12	連絡事項・利用者に関する情報・サービス提供に当たっての留意点・ケアプランの検証確認 勉強会 新型コロナウイルス感染症のメンタルヘルスについて、老年期の精神疾患について
R4.1	連絡事項・利用者に関する情報・サービス提供に当たっての留意点・ケアプランの検証確認 勉強会 介護サービス計画書の様式について
R4.2	連絡事項・利用者に関する情報・サービス提供に当たっての留意点・ケアプランの検証確認 勉強会 事例検討会について
R4.3	連絡事項・利用者に関する情報・サービス提供に当たっての留意点・ケアプランの検証確認 勉強会 高齢者に多い8疾患の薬の知識

年間サービス実施目標

目 標	9月評価	12月評価	年間評価
感染症に関する研修・勉強会の開催や最新情報の共有に努め、感染予防の意識を高める。	S	S	S
事業所内で登録者全体を把握するためにケアプラン提示により支援方針や解決すべき課題を確認することで利用者の生活の全体像を理解する。	A	S	A

総括

ケアマネ4名体制から5名体制に変更となりましたが新規相談件数が前年同様であり、施設入所での終了者が多く、登録者数が増えませんでした。今後も迅速丁寧な対応を継続していきます。事業所全体で情報共有し利用者の把握に努め対応していきたいと思っております。

# 令和3年度 事業実績報告書 通所介護センターかさま

## 要介護度別利用者状況

要介護 性別	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
男	0	0	1	1	0	0	1	3
女	0	3	10	3	3	1	0	20
計	0	3	11	4	3	1	1	23
平均介護度	1.8							

## 年齢別利用者構成

年齢別 性別	64歳以下	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95歳以上	合計
男	0	0	0	1	0	1	1	0	3
女	0	0	1	2	4	5	4	4	20
計	0	0	1	3	4	6	5	4	23

年齢 性別	最高	最低	平均
男	94	78	86
女	100	74	87
全体	97	76	86.5

## 会議

内容	年間 実施回数	年間延 参加人数	実施内容
スタッフ会議	12	84	業務連絡、個別ケア、伝達事項等

## 研修報告

年月日	参加者	場 所	内 容
R3.9.8	近澤ユキ子	法人本部	法人職員採用後研修
R4.3.16	小嶋 春代	オンライン	3年次研修

## ひやりはっと・事故の状況

月 項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
ひやりはっと	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
介護事故	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

## 職員勉強会

年月日	人数	内 容	年月日	人数	内 容
R3.4.13	8	令和3年度 事業計画書について	R3.10.15	7	感染症対策について

R3.5.20	7	高齢者の尊厳について	R3.11.12	7	消毒、細菌、ウイルスについて
R3.6.17	7	リスクマネジメントについて	R3.12.14	7	送迎時、嘔吐対応について
R3.7.14	5	熱中症について	R4.1.14	7	感染症対策まとめ①
R3.8.19	8	新型コロナ関連について(資料)	R4.2.10	6	感染症対策まとめ②
R3.9.22	8	新型コロナ関連について(動画視聴)	R4.3.10	7	感染症対策まとめ③

### 年間サービス実施目標

目 標	9月評価	3月評価	年間評価
① 感染症対策 感染症に関する研修・勉強会の開催や、最新情報の共有に勤め、感染予防の意識を高める。 (実施回数 S:6回以上 A:5回 B:4回 C:3回以下)	S	A	A
② 利用者の身体機能の維持向上に努め、個別の訓練メニューを実施する。 (実施率 S:90%以上 A:80%以上 B:70%以上 C:70%未満)	S	A	A

### 通所介護利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
目標	330	315	330	330	315	330	315	330	330	300	300	345	3,870
実績	311	276	277	326	303	318	286	299	312	257	218	176	3,359

### 総括

平成30年5月より地域密着型通所として運営して参りましたが、令和4年3月をもちまして廃止となりました。今までご利用されていた利用者様の異動先を各ケアマネジャーと相談、調整を行い、3月中に全利用者様の異動を行うことができました。利用者様並びに家族様、各担当ケアマネジャー様には大変ご不便をお掛けしてしまったことを深くお詫び申し上げます。また当施設を選んでいただき、今までご利用していただきましたことを大変感謝しております。今後につきましては「認知症高齢者グループホーム」へ事業を拡大し、引き続き地域の方々に貢献できる福祉サービスをお届けしたいと考えておりますので宜しくお願いいたします。

# 令和3年度 事業実績報告書

## 通所介護センターグリーンハウスともべ

### 要介護度別利用者状況

要介護 性別	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
男	0	0	3	6	2	0	0	11
女	1	3	6	10	6	0	2	28
計	1	3	9	16	8	0	2	39
平均介護度	1.76							

### 年齢別利用者構成

年齢別 性別	64歳以下	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95歳以上	合計
男	0	0	0	2	3	5	0	1	11
女	0	0	2	2	5	6	12	1	28
計	0	0	2	4	8	11	12	2	39

年齢 性別	最高	最低	平均
男	95	75	84.7
女	96	70	83.6
全体	96	75	83.9

### 会議

内容	年間 実施回数	年間延 参加人数	実施内容
職員会議	12	96	各種業務連絡、検討・ケース検討・安全対策、対応・意見交換
機能訓練会議	12	48	進捗状況報告・ケース検討・プログラム検討等
ナース会議	12	45	ケース検討・対応等の検討・意見交換等
感染症対策会議	12	95	感染症予防対策・発症時対応検討・ケース対応検討等

### 研修報告

年月日	参加者	場 所	内 容
R3.6.25	菅野一恵・金子恵子	オンライン	リモート機能訓練支援サービス活用による加算セミナー
R4.1.25	菅野一恵	オンライン	ADL維持等加算対応バーセル・インデックス研修
R4.2.25	金子恵子	オンライン	ADL維持等加算対応バーセル・インデックス研修

## ひやりはっと・事故の状況

月 項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
ひやりはっと	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2
介護事故	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	3

## 職員勉強会

年月日	人数	内容	年月日	人数	内容
R3.5.22	9	感染症患者発生時の対応訓練①	R3.10.22	10	冬季の感染対策について
R3.6.25	10	感染症対策と熱中症について	R3.11.26	8	感染症患者発生時の対応訓練②
R3.7.23	10	緊急時対応について(救急法)	R4.1.21	7	職員のメンタル管理について
R3.8.20	9	認知症の方への対応について①	R4.2.25	8	認知症の方への対応について(理論)
R3.9.24	10	災害発生時の対応訓練	R4.3.25	8	認知症の方への対応(実技)

## 年間サービス実施目標

目標	9月評価	3月評価	年間評価
①感染症対策(法人共通の理解度判定シートを活用) 感染症に関する研修・勉強会の開催や、最新情報の共有に努め、感染予防意識を高める。 (実施回数 S:6回以上 A:5回 B:4回 C:3回以下)	A	S	A
②利用者の視点に立ち、安心、安全な支援が提供できるよう、勉強会・研修会を通して職員の質の向上に努める。 (6か月の目標回数 S:6回以上 A:5回 B:4回 C:3回以下)	A	S	A
③心・食・体をコンセプトに五感を使って感覚を磨くことで自分の体で感じるようになる、体力・メンタル面での充実を実感し、グリーンハウスともべはもう一つの家のような場所として使うことができる施設に作り上げる。 (6か月の目標達成 S:6か月 A:4か月 B:2か月 C:1か月)	A	S	A
④ケアの方法や内容を共有し、常に利用者の立場に立って支援を行う。また、定期的に支援の内容を話し合う。 (6か月の実施回数 S:6回 A:5回 B:4回 C:3回以下)	S	S	S

## 通所介護利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
目標	590	580	590	615	550	620	630	350	350	320	320	370	5,885
実績	459	451	465	473	403	434	444	330	326	293	256	319	4,653

## 総括

令和3年度は、コロナ禍の中で、感染症予防の徹底を最優先としながらも、ご利用者とご家族のニーズに合わせた支援を行いました。また、リモートでの研修に参加し、より専門性を高め、ご利用者への支援に繋がりました。

各曜日別での目標設定を明確にし、介護度の高いご利用者へのニーズに合わせた支援を行うことで、ご利用者が安心して利用できる環境を作ることができました。また、令和3年11月より地域密着型通所介護に変更致しました。

今後の取り組みとして、より地域に根差し、ご利用者だけでなく、ご家族のケアを含めて支援の提供に繋がって行きたいと思っております。

# 令和3年度 事業実績報告書

## 訪問入浴介護センターグリーンハウスとちぎ

### 要介護度別利用者状況

介護度 性別	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
男	0	0	3	0	1	1	0	5
女	0	0	3	4	0	2	4	13
計	0	0	6	4	1	3	4	18
平均介護度	2.7							

### 年齢別利用者構成

年齢 性別	64歳以下	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95歳以上	合計
男	1	0	0	2	1	1	0	0	5
女	1	0	0	0	3	2	2	5	13
計	2	0	0	2	4	3	2	5	18

年齢 性別	最高	最低	平均
男	88	57	72.5
女	104	58	81
全体	104	57	80.5

### 年間サービス実施目標

目 標	9月評価	3月評価	年間評価
感染症に関する研修・勉強会の開催や、最新情報の共有に努め、感染予防の意識を高める。(実施回数 S:6回以上 A:5回 B:4回 C:3回以下)	S	S	S
居宅サービス計画書に沿ったサービス提供の結果や利用者の状態変化等を、担当の介護支援専門員に毎月報告し信頼関係を深め、安定した利用者確保に努める。(実施回数 S:6回以上 A:5回 B:4回 C:3回以下)	S	S	S

### 総括

3月現在、訪問入浴では18名の方にご利用頂いております。

また、益子町からの委託事業として、障害児者2名の方もご利用されています。

新型コロナウイルス感染対策にご利用者、ご家族、関係機関の方々のご協力を頂くことができました。

今後も継続して多くの方々に訪問入浴の良さをアピールし、ご利用頂けるように努めて参ります。

# 令和3年度 事業実績報告書

## 認知症対応型グループホーム グリーンハウスとちぎ

### 要介護度別入所者状況

介護度 性別	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
男	0	2	2	0	2	0	6
女	2	3	4	0	2	0	11
計	2	5	6	0	4	0	17
平均介護度	1.99						

### 年齢別利用者構成

年齢 性別	64歳以下	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95歳以上	合計
男	0	0	0	0	1	2	2	1	6
女	0	0	0	0	1	3	5	2	11
計	0	0	0	0	2	5	7	3	17

年齢 性別	最高	最低	平均
男	104	84	91
女	97	84	91
全体	104	84	91

### 障害高齢者の日常生活自立度(寝たきり度)状況

自立度	障害無	生活自立		準寝たきり		寝たきり				合計
		J1	J2	A1	A2	B1	B2	C1	C2	
男	0	0	1	1	1	1	2	0	0	6
女	0	0	2	3	3	1	2	0	0	11
計	0	0	3	4	4	2	4	0	0	17

### 認知症高齢者の日常生活自立度

自立度	認知症無	I	IIa	IIb	IIIa	IIIb	IV	M	合計
男	0	0	1	2	2	1	0	0	6
女	0	3	0	7	1	0	0	0	11
計	0	3	1	9	3	1	0	0	17



## 会議

内 容	年間 実施回数	年間延 参加人数	実施内容
職員会議	12	60	感染症及び虐待について・安全対策検討など

## 研修報告

年月日	参加者	場 所	内 容
R3.9～10	宮脇喜一	三幸福祉カレッジ(真岡)	実務者研修
R3.8～10	森田学	三幸福祉カレッジ(水戸)	実務者研修
R3.10～12	佐藤洋子	とちぎ健康の森	認知症介護実践者研修
R4.3.3～4	佐藤洋子	とちぎ認知症介護研修センター	認知症対応型サービス事業管理者研修

## ひやりはっと・事故の状況

月 項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
ひやりはっと	1	0	5	5	4	0	1	7	0	0	1	5	29
介護事故	0	1	2	2	1	1	1	2	3	2	0	1	16

## 職員勉強会

年月日	人数	内 容	年月日	人数	内 容
R3.4.30	5	事業計画について	R4.10.29	6	感染症について
R4.5.31	3	防災について	R4.11.30	5	安全運転について
R4.6.30	4	熱中症について	R4.12.24	5	介護リスクマネジメント
R4.7.30	4	緊急時対応について	R4.1.28	6	口腔ケア
R4.8.30	5	虐待について	R4.2.28	6	車椅子の使用方法
R4.9.29	5	口腔ケアについて	R4.3.23	6	薬の基礎知識について

## 【共用型通所】

### 要介護度別入所者状況

介護度 性別	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
男	1	0	0	0	0	1
女	2	1	0	0	0	3
計	3	1	0	0	0	4
平均介護度	1.36					

### 年齢別利用者構成

年齢 性別	64歳以下	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95歳以上	合計
男	0	0	0	0	0	0	1	0	1

女	0	0	0	0	1	0	2	0	3
計	0	0	0	0	1	0	3	0	4

年齢 性別	最高	最低	平均
男	91	91	91
女	94	83	90
全体	94	83	90

### 年間サービス実施目標

目 標	9月評価	3月評価	年間評価
感染症に関する研修・勉強会の開催や、最新情報の共有に努め、感染予防の意識を高める。(実施回数 S:6回以上 A:5回 B:4回 C:3回以下)	S	S	S
待機者確保の為、再度営業を重視、ケアマネなどとの情報交換を密に対応。信頼関係を深める。(実施回数 S:6回以上 A:5回 B:4回 C:3回以下)	S	S	S
入院者が出ないように、協力医、看護職員及び介護職員で観察、報告、連絡、相談を密接に行う。(6ヶ月間で入院 S:なし A:2名以下 B:3~4名以下 C:5名以上)	A	B	A

### 認知症高齢者グループホーム利用実績(定員18名=100%)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
目標	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18
実績	91%	94%	99%	100%	97%	96%	96%	100%	98%	94%	92%	91%

### 総括

令和3年度、年間入院者合計4名、長期入院による退所あり、18名満床の維持ができませんでした。

これからも、待機者確保に努め、スムーズな入退所が実施できるように対応して参ります。

また、ご家族の方々及び各関係者の皆様におかれましては、継続して新型コロナウイルス感染症の予防、拡大防止対策の一環としての面会自粛など施設方針にご理解とご協力を頂き誠にありがとうございます。

今後も感染症対策に職員一同努めて参りますので、ご協力をよろしくお願い申し上げます。。

# 令和3年度 事業実績報告書 小規模多機能型居宅介護 グリーンハウスやまうち

## 要介護度別利用者状況

性別	要介護							合計
	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	
男	0	0	2	1	1	4	0	8
女	1	1	1	2	4	1	5	15
計	1	1	3	3	5	5	5	23
平均介護度	2.87							

## 年齢別利用者構成

性別	年齢別								合計
	64歳以下	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95歳以上	
男	0	0	0	1	1	2	4	0	8
女	0	0	0	0	2	3	7	3	15
計	0	0	0	1	3	5	11	3	23

性別	年齢		
	最高	最低	平均
男	93	76	86
女	102	84	91
全体	102	76	89

## 会議

	年間実施回数	年間延参加人数	実施内容
検討会議	12	70	個別サービス 安全対策 担当者会議

## 研修報告

年月日	参加者	場所	内容
R3.10.5～12.22	神山 利美	とちぎ認知症介護研修センター	認知症介護実践者研修
R3.9.27	茂垣 たみ子	グリーンハウスやまうち	認知症介護基礎研修
R3.11.26	伊藤 祥永	トラック協会	防火管理・防災管理再講習
R3.12.10	石崎 孝子 江口 晴香	益子町 あぐり館	認知症フレンドリー講座
R3.12.15	大町 友子 神山 利美	芳賀町農業者トレーニングセンター	認知症フレンドリー講座

## ひやりはっと・事故の状況

項目	月												合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
ひやりはっと	7	1	3	9	1	2	1	1	2	1	0	3	31
介護事故	3	0	1	3	1	0	1	0	2	1	5	0	17

## 職員勉強会

年月日	人数	内容	年月日	人数	内容
R4.4.28	6	事業所加算	10月29日	7	インフルエンザ
R4.5.28	6	事業計画書	11月2日	6	緊急時対応
R4.6.30	6	権利擁護	12月30日	6	ノロウイルス
7月28日	7	認知症	1月31日	7	介護技術
8月24日	6	食事介助	2月21日	6	サービス評価
9月28日	7	薬の副作用,副反応	3月31日	7	災害対策

## 年間サービス実施目標

目標	9月評価	3月評価	年間評価
①感染対策 感染症に対する研修・勉強会の開催や、最新情報の共有に努め、感染予防の意識を高める。 【実施回数 S:6回以上 A:5回 B:4回 C:3回以下】	S	S	S
②感染症に対する知識を深め、利用者及び家族へ助言を行い、入院者が発生しないように健康管理に努める。 【入院件数 S:0件 A:2件 B:3件 C:4件以上】	A	A	A
③利用者の意思や意向を尊重し、安心感と信頼感を持って頂けるように努める。 【評価45点満点中 S:43点以上 A:42~40点 B:39~37点 C:36点以下】	S	S	S

## 登録者状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
目標	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	300
実績	23	24	23	23	23	23	24	24	23	23	23	23	279

## 総括

年間通して新規利用者や中止者等の変動はありましたが、目標登録者数の確保、維持することが出来ませんでした。現在利用されている方のニーズの再度、見直しをおこない通い・訪問・宿泊を組み込みながら状態に応じた介護サービス提供をして参りたいと思います。

外部研修等の参加につきましては、新型コロナウイルス感染防止の影響にて参加頻度が減少しておりますが、施設内部での研修・勉強会を積極的に開催し知識向上を努めて参りたいと思います。

地域の皆様から必要とされる事業所のありかた、地域・個別に応じた介護サービスの提供を図り、地域に根差した施設運営を目指し職員一丸となり支援して参ります。

# 令和3年度 事業実績報告書

## 認知症対応型グループホーム グリーンハウス陣屋

### 要介護度別入所者状況

要介護 性別	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
男	0	0	0	3	1	4
女	0	1	3	4	5	13
計	0	1	3	7	6	17
平均介護度	4.06					

### 年齢別利用者構成

年齢 性別	64歳以下	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95歳以上	合計
男	0	0	1	0	1	2	0	0	4
女	0	0	0	0	3	6	0	4	13
計	0	0	1	0	4	8	0	4	17

年齢 性別	最高	最低	平均
男	87	74	82
女	102	82	89.7
全体	102	74	87.9

### 障害高齢者の日常生活自立度(寝たきり度)状況

自立度	障害無	生活自立		準寝たきり		寝たきり				合計
		J1	J2	A1	A2	B1	B2	C1	C2	
男	0	0	0	0	2	0	2	0	0	4
女	0	0	0	4	1	6	1	1	0	13
計	0	0	0	4	3	6	3	1	0	17

### 認知症高齢者の日常生活自立度

自立度	認知症無	I	Ⅱa	Ⅱb	Ⅲa	Ⅲb	Ⅳ	M	合計
男	0	0	0	1	1	0	2	0	4
女	0	0	0	0	3	5	5	0	13
計	0	0	0	1	4	5	7	0	17

## 会議

内 容	年間 実施回数	年間延 参加人数	実施内容
職員会議	12	97	個別ケア・連絡事項・行事検討・身体拘束適正化・感染症対策・高齢者虐待防止他
サービス担当者会議	12	97	サービス計画の見直しと評価・検討
運営推進会議	6	48	入所者状況報告・事業計画・事業実績他
安全対策会議	20	132	事故報告書等による検討・今後の安全対策

## 研修報告

年月日	参加者	場 所	内 容
R3.6.1～7.30	藺部 浩美	オンライン	認知症介護実践者研修
R3.6.23	小薬 猛	オンライン	筑西市認知症支援を考える会総会
R3.6.24～7.18	小薬 猛	オンライン	介護支援専門員更新研修
R3.9.24～25	藺部 浩美	オンライン	認知症対応型サービス事業管理者研修
R3.9.27	藺部 浩美 大和田 弘子	オンライン	茨城県社会福祉法人経営青年会 令和3年度 第1回講演会 「LGBTQ+多様性ある社会の実現に向けて」
R3.10.13～14	飛田 亮	結城市民文化センター	甲種防火管理新規講習会
R3.11.17	永堀 久美子 杉山 美咲	法人本部	法人2年次研修「認知症の理解と虐待防止の重要性について知る」
R3.12.3	今井 ゆき江 中野 幸子	法人本部	法人新採用職員オリエンテーション
R4.2.25	小薬 猛	オンライン	令和3年度介護保険サービス事業所等集団指導説明会
R4.3.16	飛田 亮 本田 実	オンライン	法人3年次研修「摂食嚥下障害の基礎知識と臨床技術」

## ひやりはっと・事故の状況

月 項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
ひやりはっと	5	2	0	1	2	1	0	0	0	1	1	1	14
介護事故	1	1	1	6	4	2	5	5	4	2	3	4	38

## 職員勉強会

年月日	人数	内 容
R3.7.14	6	食中毒について
R3.8.5	8	口腔内ケア・看取り介護について
R3.9.16	8	緊急時対応・認知症ケアについて
R3.10.4	7	感染症予防・対策について
R3.11.11	10	接遇・虐待防止・高齢者の尊厳について
R3.12.8～12.10	18	ESBLの感染対策について
R4.1.8	10	リスクマネジメントについて
R4.2.6	9	認知症にたいする理解とケアについて
R4.3.6	9	緊急時対応・看取り介護について

## 年間サービス実施目標

目 標	9月評価	3月評価	年間評価
①感染症に関する研修・勉強会の開催や、最新情報の共有に努め感染予防の意識を高める。 【実施回数 S:6回以上 A:5回 B:4回 C:3回以下】	A	A	A
②介護サービスの質の向上を図り、認知症ケアと終末期ケアの充実を図る。 【勉強会の実施・研修会参加 S:7回以上 A:5回 B:4回 C:3回以下】	A	A	A

## 認知症高齢者グループホーム利用実績(定員18名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
目標	529	547	529	547	547	529	547	529	547	547	494	547	6439
実績	509	558	511	557	558	531	551	530	558	558	504	544	6469

## 総括

令和3年度は、体調不良等により入院された方がおりましたが、入院期間も短く、退院後は体調を崩すことなく過ごされております。年度内の入退所は1件のみとなり、新規入居もスムーズに行え、空床を最小限に抑えることが出来た為、目標稼働率を達成する結果となりました。

昨年度より認知症の重度化や平均介護度が重くなっております。その為、以前より予期せぬ事故があったり、初歩的な事故がみられたりと事故件数の増加もみられました。施設内の勉強会や、外部の研修に積極的に参加し、職員の介護技術をはじめ、スキルの向上を図り、利用者に安心して過ごしていただき、ご家族の信頼と満足となるサービス提供が行えるよう努めてまいりたいと思います。

# 令和3年度 事業実績報告書 小規模多機能型居宅介護 グリーンハウス陣屋

## 要介護度別利用者状況

介護度 性別	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
男	0	0	1	3	1	2	0	7
女	2	2	3	3	3	2	3	18
計	2	2	4	6	4	4	3	25
平均介護度	2.49							

## 年齢別利用者構成

年齢 性別	64歳以下	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95歳以上	合計
男	0	0	1	0	1	1	2	1	6
女	0	0	2	2	4	3	5	3	19
計	0	0	3	2	5	4	7	4	25

年齢 性別	最高	最低	平均
男	96	74	85
女	100	73	86.5
全体	99	72	86.3

## 会議

内容	年間実施回数	年間延参加人数	実施内容
スタッフ会議	12	70	問題ケースの検討・行事検討・多職種との連携確認・感染症対策・高齢者虐待防止他
運営推進会議	6	48	運営状況報告・行事内容活動報告・連絡事項・意見交換
安全対策会議	10	67	要因分析・安全対策・再発防止

## 研修報告

年月日	参加者	場所	内容
R3.6.23	白取 由紀 上田 宗市郎	オンライン	筑西市認知症支援を考える会総会(オンライン)
R3.6.24	白取 由紀	オンライン	「小規模多機能型居宅介護における基本的理解
R3.7.3～4	鈴木 尋美	笠間市友部社会福祉会館	移動サービス運転者認定講習会
R3.7.11	上田 宗市郎	茨城県市町村会館	茨城県認知症介護アドバイザー養成講座
R3.9.8	木本 裕美	オンライン	法人1年次研修「交通安全について」
R3.11.12	白取 由紀	オンライン	包括的・継続的ケアマネジメント研修会
R3.11.17	上田 宗市郎	法人本部	法人2年次研修「認知症の理解と虐待防止の重要性について知る」
R3.12.3	富田 梨紗	法人本部	法人新採用職員オリエンテーション
R4.1.20	白取 由紀	オンライン	茨城県小規模多機能ケアネットワーク
R4.3.16	手塚 美知子	オンライン	法人3年次研修「摂食嚥下障害の基礎知識と臨床技術」



## ひやりはっと・事故の状況

月 項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
ひやりはっと	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
介護事故	1	0	0	1	4	1	0	0	0	1	1	0	9

## 職員勉強会

年月日	人数	内容	年月日	人数	内容
R4,4,10	6	緊急時対応,高齢者に多い疾患につ	R3,10,11	6	感染予防について
R3,5,10	7	認知症の症状別対応について	R3,11,10	6	高齢者の尊厳について
R3,6,10	5	身体拘束・権利擁護について	R3,12,15	6	接遇マナー・高齢者の尊厳について
R3,7,8	6	食中毒予防、対策について	R4,1,24	6	リスクマネジメントについて
R3,8,2	7	熱中症対策について	R4,2,18	5	介護技術について
R3,9,13	5	認知症の症状別対応について	R4,3,8	5	口腔ケアについて

## 年間サービス実施目標

目標	9月評価	3月評価	年間評価
感染に関する研修・勉強会の開催や、最新情報の共有に努め、感染予防の意識を高める。 【実施回数 S:6回以上 A:5回 B:4回 C:3回以下】	A	B	A
各職員が協同して、言葉遣いや気遣い、環境整備に心掛け快適に過ごしていただけるように努める。 【評価45点満点中 S:43点以上 A:42~40点 B:39~37点 C:36点以下】	A	A	A
利用者の意思や意向を保ち安心した支援につながるよう3か月に一度は各職員の意思、家族の声をもとに個別計画を見直していく。 【登録者 S:100% A:92%以上 B:84%以上 C:84%未満】	A	A	A

## 通所介護利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
目標	390	403	390	434	392	420	465	450	465	420	420	465	5114
実績	370	378	349	421	396	413	430	420	432	348	368	421	4746

## 総括

<p>令和3年度は登録者27名からスタートし、年間の新規利用者は3名増となるが、認知症状の悪化にて在宅生活が困難となり、1名がグループホームへ入所、1名が他市町村家族のもとへ転居、2名が老健に入所、1名が逝去され、年度末登録者は25名と目標達成はできませんでした。又、長期入院者がおり通所利用も減っています。</p> <p>利用問い合わせはありましたが、独居の方で認知症状の悪化から服薬管理が困難となり、毎日の訪問の希望をされるなど、経済的に余裕がないため定額制の小規模でサービスを多く利用したいケースの問い合わせが多く、毎日の訪問は人員体制的に対応困難なため契約には至りませんでした。</p> <p>引き続き、包括・居宅・病院等への営業を行う他、病院から在宅に戻る際のサポートを実施していることもPRL、登録定員を満たせるよう新規利用者を獲得していきます。</p> <p>併せて通所の稼働率向上の為に介護・看護・協力医との連携を高め、利用者の健康管理を行い長期入院者を出さないようにしていきます。</p>
---

# 令和3年度 事業実績報告書 訪問看護ステーショングリーンハウスみと

## 要介護度別利用者状況

要介護 性別	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	医療	合計
男	0	1	5	9	0	3	1	7	26
女	2	2	5	10	9	1	0	4	33
計	2	3	10	19	9	4	1	11	59
平均介護度	2.0								

## 年齢別利用者構造

年齢別 性別	64歳以下	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95歳以上	合計
男	5	0	6	5	6	2	2	1	27
女	0	3	6	2	4	6	7	4	32
計	5	3	12	7	10	8	9	5	59

年齢 性別	最高	最低	平均
男	96	48	76
女	100	68	84
全体	100	48	80

## 市町村別利用者状況

市町村 性別	水戸市	茨城町	笠間市	大洗町	合計
男	15	0	9	3	27
女	15	2	15	0	32
計	30	2	24	3	59

## 会議

内容	年間実施回数	年間延参加人数	実施内容
ケアカンファレンス	6	36	うつ症状のある利用者に対する介入・感染症対策

## 研修報告

年月日	参加者	場所	内容
R3.11.1	鳥羽田智史	オンライン	訪問看護新任管理者研修会 I
R3.11.26	因 隼人	オンライン	コロナにおける感染予防について
R3.10.1	上野美砂記	茨城県看護協会	12月まで訪問看護ステーション管理者研修プログラム
R4.1.15	川又 忍	茨城県看護協会	訪問看護入門プログラム
R3.10.3	武藤 俊典	オンライン	訪問リハビリテーション管理者養成研修STEP1～3
R4.2.28	磯 和利	オンライン	安全運転管理者講習

## 職員勉強会

年月日	参加人数	内容
R3.4.13	6人	接遇・感染症について
R3.6.15	7人	熱中症・脱水症について
R3.8.17	6人	生活不活発病について(廃用症候群)
R3.10.12	6人	感染症について(ガウンテクニック)
R3.12.14	6人	事例検討
R4.2.8	6名	高齢者虐待防止について
R4.3.10	7名	来年度の目標及び運営について

## 年間サービス実施目標

目標	9月評価	3月評価	年間評価
①感染予防の意識をより高め、安心・安全で「信頼されるサービス」の提供を実践する。	A	B	A
②延べ利用件数に占める医療保険の割合を増加する。	B	S	A
③外部研修やWeb研修等に参加し、利用者主体のサービス提供と質の向上に努める。	A	A	A

## 訪問看護利用実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
目標	440	420	440	440	400	440	420	440	440	400	400	460	5140
実績	315	295	327	323	294	346	379	436	462	414	397	441	4429

## 総括

令和3年度は、8月に新体制となりこれまでの業務内容を見直し、営業活動を行い月に400件を超す実績を踏むことが出来た。これまでお付き合いがなかった関係機関からも問い合わせが増え徐々に登録者を増やす事ができ、そこで見えてきたのは、職員間の繋がりであり看護及びリハの連携を強化することが、新規利用者獲得にも繋がること気づきました。よってこれからの課題は、お互いの専門性を理解し情報を共有して、一人一人が成長できる環境づくりがテーマとなります。引き続き人材育成を行い、目標達成できるよう努めて参ります。

# 令和3年度 事業実績報告書

## 多機能型重症児デイサービス グリーンハウスおおつか

### 障害児通所利用状況

(児童発達支援)

(放課後等デイサービス)

区分 性別	児童発達支援		合計	区分 性別	放課後等デイサービス		合計
	重症心身 障害児	重症心身 障害児以外			重症心身 障害児	重症心身 障害児以外	
男	5	2	7	男	2	0	2
女	3	0	3	女	3	0	3
計	8	2	10	計	5	0	5

### 年齢別利用者構造

(児童発達支援・放課後等デイサービス)

年齢 性別	年齢別利用者構造								
	0歳	1歳	2歳	3歳	4～6歳	7～12歳	13～15歳	16～18歳	合計
男	0	1	1	0	5	1	0	1	9
女	0	1	0	0	2	0	3	0	6
計	0	2	1	0	7	1	3	1	15

### 市町村別利用者状況

市町村 性別	市町村別利用者状況				合計
	水戸市	那珂市	笠間市	茨城町	
男	6	0	1	2	9
女	6	0	0	0	6
計	12	0	1	2	15

### 会議

内容	年間実施回数	年間延参加人数	実施内容
スタッフミーティング	10	60	個別支援内容・業務改善等

### 研修報告

年月日	参加者	場所	内容
R3.4.11	海老名恵子	オンライン	全国重症児デイサービスネットワーク
R3.5.28	海老名恵子	オンライン	事業所内勉強会 感染症の基礎知識
R3.7.6	草刈久美子	茨城県歯科医師会館	摂食嚥下研修会8/3・9/14・10/12・11/9計5回
R3.11.13	海老名恵子	オンライン	小児在宅医療勉強会第1回

R3.12.4	海老名恵子	オンライン	小児在宅医療勉強会第3回
R3.12.10	海老名恵子	オンライン	茨城県障害福祉サービス事業所管理者研修会
R3.12.17	海老名恵子	オンライン	令和3年度茨城県障害者虐待防止・権利擁護研修
R3.12.18	海老名恵子	オンライン	令和3年度障害者虐待防止・権利擁護研修
R3.12.20	海老名恵子 磯和利	オンライン	障害福祉サービス事業所等における自然災害発生時の業務計画BCP作成支援に関する研修
R4.1.24	海老名恵子 磯和利	オンライン	障害福祉サービスeラーニング研修
R4.2.25	職員全員	オンライン	障害者虐待防止研修
R4.3.2	海老名恵子	オンライン	令和3年度福祉サービス苦情解決研修会
R4.3.21	海老名恵子	オンライン	令和3年度茨城県小児在宅医療研修茨城県医療的ケア児について考える会水戸市自立支援協議会こども部会

### ひやりはっと・事故の状況

項目 \ 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
ひやりはっと	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
介護事故	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2

### 職員勉強会

年月日	参加人数	内容
R3.5.28	6	感染症について

### 年間サービス実施目標

目標	9月評価	3月評価	年間評価
①感染予防の意識をより高め、安心・安全で「信頼されるサービス」の提供を 実践する。	A	A	A
②利用者一人一人を尊重した支援を行い、ご家族の希望に沿ったサービスの 提供。	S	S	S
③個々の障害、身体状況に合わせた個別支援計画を作成し、計画通りサー ビスが実施できているか、評価及び見直しを行ない、事業所内相談支援を 実施する。	S	S	S

### 障害児通所利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
目標	99	95	99	99	95	99	95	99	95	90	90	103	1158
実績	81	83	98	88	79	76	77	92	81	78	75	94	1002

## 総括

令和3年度は、これまでになかった「事業所卒業」のお子様がおりました。成長し幼稚園に通うことが決まった2名と、高校卒業となった1名を送り出すことが出来ました。今年度は、オンライン研修が多くありましたがこれをきっかけに、情報の共有及び新規利用者の情報を得ることが出来ました。これからの課題としては、おおつにしか無い「家庭のような雰囲気のある事業所」「親御さんと共に子供たちの成長を考える」をテーマにし、感染症対策を継続し、目標達成に向けて努めて参ります。

# 令和3年度 事業実績報告書 尚生会本部

## 評議員会・理事会開催録

区分	回数	日時	出席者	内容
理事会	138	R3.6.10	理事6名 監事2名	1. 決議された事項 ・令和2年度 社会福祉法人尚生会 各会計決算について 1)各会計決算報告 2)令和2年度監事監査の結果報告 ・社会福祉法人 尚生会 理事長の互選について ・社会福祉法人 尚生会 業務執行理事の互選について ・社会福祉法人 尚生会 事務局長の互選について ・就業規則の一部改正(案)について ・給与規程の一部改正(案)について ・評議員会(第78回)の招集(案)について
評議員会	78	R3.6.25	評議員7名 監事2名	2.了承された報告 (1)職務の執行状況の報告について 理事長専決事項について 1)かさまグリーンハウス「車両購入」の報告について 2)グリーンハウスひたちなか「車両購入」の報告について 3)軽費老人ホーム ケアハウスかさま「電力量計更新工事」の報告について (2)監督官庁が実施した検査又は調査の結果 (改善指示がある場合は、その改善状況) 1)外部評価結果について(グリーンハウスとちぎ) (3)その他報告が必要と認められる事項 1)笠間市 総合事業 いきいき通所サービスの廃止について 2)水戸市常澄高齢者支援センター運営業務受託の更新について 3)ひたちなか市大島中学校地区地域包括支援センター運営業務受託の更新について 4)令和2年度 事業実績報告
理事会	139	R3.10.5 (書面)	理事6名 監事2名	1.決議された事項 1)グリーンハウスともべ 事業の変更(案)について
理事会	140	R3.11.25	理事6名 監事2名	1.決議された事項 1)グリーンハウスひたちなか長期借入金返済計画の変更(案)について 2)社会福祉法人尚生会 給与規程の一部改正(案)について 3)令和3年度 第一次補正予算(案)について 4)評議員会(第79回)の招集(案)について
評議員会	79	R3.12.10	評議員7名 監事2名	2.了承された報告 (1)理事長・業務執行理事の職務の執行の状況(理事長専決事項について) 1)「簡易陰圧装置の設置」の報告 2)介護保険請求ソフト「ワイズマン」の契約更新の報告 3)「非常用照明LED更新工事」の報告 4)車両購入の報告 5)非常口工事の報告 6)車両処分の報告 (2)監督官庁が実施した検査又は調査の結果報告(改善指示がある場合は、その改善状況) 1)消防立入検査結果報告について 2)実態把握のための事業所訪問の結果について 3)外部評価結果報告について (3)その他報告が必要と認められる事項 1)社会福祉法人尚生会 準職員就業規則の一部改正の報告
理事会	141	R4.2.24	理事6名 監事1名	1.決裁された事項 1)通所介護センターかさま 事業の廃止(案)について 2)認知症高齢者グループホームかさまグリーンハウス事業及び 共用型認知症対応型通所介護センターかさま事業の廃止と 認知症高齢者グループホームかさまへの事業統合及び 共用型認知症対応型通所介護センターの事業計画(案)について 3)介護老人福祉施設かさまグリーンハウス 大規模改修工事(案)について 4)認知症高齢者グループホームかさま 改修工事(案)について 5)介護老人福祉施設かさまグリーンハウス 大規模改修工事と 認知症高齢者グループホームかさま 改修工事の業者選定(案)について 6)市中銀行からの借り入れ(案)について 7)積立金の取り崩し(案)について 8)障害者生活介護事業所グリーンハウスいずみ事業計画(案)について 9)令和4年度 社会福祉法人尚生会 事業計画(案)について 10)令和4年度 社会福祉法人尚生会 予算(案)について

				11)グリーンハウスひたちなか 給食委託契約(案)について 12)社会福祉法人尚生会 就業規則の一部改正(案)について 13)社会福祉法人尚生会 給与規程の一部改正(案)について 14)社会福祉法人尚生会 経理規程の一部改正(案)について 15)評議員会(第80回)の招集(案)について
評議員会	80	R4.3.10 (書面)	評議員7名	2.了承された報告 (1)理事長・業務執行理事の職務の執行の状況(理事長専決事項について) 1)グリーンハウスみと「新館2F北側系統室外機修繕工事」の報告について 2)ケアハウスかさま「給水加圧ポンプ更新工事」に係る業者決定の報告について 3)車両購入の報告について 4)車両処分報告について (2)監督官庁が実施した検査又は調査の結果報告(改善指示がある場合は、その改善状況) 1)消防立入検査結果報告について(とちぎ・やまうち) 2)実態把握のための事業所訪問の結果について(とちぎ・本部) 3)外部評価結果報告について(かさま) (3)その他報告が必要と認められる事項 1)準職員就業規則の一部改正(案)について

#### 尚生会連絡会議

年月日	回数	出席人数	場所	内容
R3.5.18	114	27	法人本部(多目的ホール)	事業進行管理・相談員会議報告
R3.10.22	115	35	法人本部(多目的ホール)	事業進行管理・相談員会議報告

#### 職員研修

年月日	場所	内容
R3.4.1~4.2	法人本部	新卒採用育成プログラム オリエンテーション 施設見学 講義「認知症と虐待について」「身体拘束廃止の重要性」「感染症対策」
R3.9.8	法人本部・Skype	(採用1年職員対象) 講義「交通安全について」
R3.11.17、R3.12.15	法人本部・みと	(採用2年職員対象) 講義「認知症の理解と虐待防止の重要性について知る」
R4.3.16	ひたちなか・Skype	(採用3年職員対象) 講義・演習「嚥下メカニズムと摂食障害臨床技術」

#### 苦情解決状況(意見要望を含む) ※令和3年度なし

月日	件数	事業所	苦情内容	再発防止対策

#### 有資格者数

事業所	社会福祉士	介護支援専門員	介護福祉士	社会福祉主事	看護師	PT OT	訪問介護員 (初任者研修修了者 含)
合計	8	48	154	22	40	9	139

#### 障害者雇用状況

事業所	人数	採用日
かさまグリーンハウス	1名	H20.6.2(12年9ヶ月)
ケアハウスかさま	2名	H5.4.1(28年)
		H23.4.1(10年)
グリーンハウスみと	1名	H26.4.1(7年)
グリーンハウスひたちなか	1名	H30.4.1(3年)
グリーンハウス陣屋	1名	H29.4.1(4年)
合計	6名	



実習生受入れ状況

		みと	ひたちなか	ケアハウス	陣屋
茨城キリスト教大学	延べ人数		10		
	実人数		2		
茨城県立協和特別支援学校	延べ人数				30
	実人数				6
アール医療福祉専門学校	延べ人数		14		
	実人数		1		
駿優国際医療ビジネス専門学校	延べ人数	28		74	
	実人数	4		4	
合計	延べ人数	28	24	74	30
	実人数	4	3	4	6

処遇改善加算金

支給日	支給対象事業所	支給延人数	合計支給額
R3.4.15、R3.5.17 R3.6.15、R3.7.15 R3.8.16、R3.9.15 R3.10.15、R3.11.15 R3.12.15、R4.1.17 R4.2.15、R4.3.15	かさま:介護老人福祉施設、認知症対応型通所、グループホーム みと:介護老人福祉施設、通所介護、 ひたちなか:介護老人福祉施設、認知症対応型通所 ケアハウス:通所介護、グループホーム、訪問介護 ともべ:通所介護 とちぎ:グループホーム、訪問入浴、小規模多機能型居宅介護支援 陣屋:グループホーム、小規模多機能型居宅支援 おおつか:多機能型重症児ディサービス	2,689	102,911,591

特定処遇改善加算金

支給日	支給対象事業所	支給延人数	合計支給額
R3.4.15、R3.5.17 R3.6.15、R3.7.15 R3.8.16、R3.9.15 R3.10.15、R3.11.15 R3.12.15、R4.1.17 R4.2.15、R4.3.15	かさま:介護老人福祉施設、認知症対応型通所、グループホーム みと:介護老人福祉施設、通所介護、 ひたちなか:介護老人福祉施設、認知症対応型通所 ケアハウス:通所介護、グループホーム、訪問介護 ともべ:通所介護 とちぎ:グループホーム、訪問入浴、小規模多機能型居宅介護支援 陣屋:グループホーム、小規模多機能型居宅支援 おおつか:多機能型重症児ディサービス	3,320	31,063,901

本部地域貢献活動

項目	内容
多目的ホール貸出	エアロビクス・ステップ・ヨガ・ストレッチポール

年間サービス実施目標

目標	9月評価	3月評価	年間評価
各施設の管理業務の効率化を図る。 (集約件数 S:3件 A:2件 B:1件 C:0件)	B	A	B
業務のシステム化を図り、経費削減に繋げる。 (提案件数 S:5件 A:4件 B:3件 C:2件)	C	S	B
各施設、事業所へ財務状況を周知、理解を促し具体的対応策による指導を行い黒字化を図る。 (黒字化事業所割合 S:100% A:80%以上 B:60%以上 C:それ以下)	B	B	B
毎月末、各施設の職員過不足の確認を行い、ハローワークに求人票を遅延なく実施する。 (求人業務の遅延 S:遅延なし A:遅延1件 B:遅延2件 C:遅延3件以上)	S	S	S

総括

<p>住民税及び所得税の電子納入、法人登記簿取得を電子申請に代えることで外出時間を削減。外出時間削減により事務処理に掛ける時間の確保と車両燃料費の削減に繋げた。</p> <p>本部内において、紙で決裁を行ってきたもの(小口現金出納帳、職員給与支給・控除一覧表等)を電子承認としたことで、紙の使用量削減、プリントアウトの手間を省くことができた。</p> <p>年度後半「今までのやり方」に拘らず、変えられると思うことに積極的に取り組むことができた。</p> <p>収支が低迷している事業所への改善策が図れなかった事は、次年度の課題である。</p> <p>今後も続く人材確保と人材定着は、法人全体で危機意識を持ち取組みを行うことが必要である。</p>
---